

1. 基本情報						
事務事業番号	02117	事務事業名	働く女性の家維持管理事業	担当部	商工観光部	
政策名	004	はぐくみ(社会を生き抜く力と生涯を通じて学びあう力を育むまちづくり)		担当課	商工観光施設課	
施策名	002	多様な学びを支援する社会教育の充実		担当課長	秋窪 達郎	
基本事業名	003	自ら学び、高め合う体制づくりと学習環境の充実		グループ	施設管理グループ	
予算科目	会計 一般会計	事業期間	単年度のみ 単年度繰返(開始年度 ~) 期間限定複数年度(~)			
目録	05 労働費 01 労働諸費 01 働く女性の家事業費	根拠法令・条例等	霧島市働く女性の家の設置及び管理に関する条例			
評価区分	標準評価	評価対象	1次評価		関連計画	

2. 事務事業の概要・目的・指標<Do>

(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)
 「霧島市働く女性の家」に係る管理運営事業。「霧島市働く女性の家」は、女性労働者及び勤労者家庭の女性の福祉の増進を図るため設置された施設であり、(1)職業に関する相談及び指導、(2)職業生活及び家庭生活に関する講習会等の開催、(3)グループ活動、クラブ活動、スポーツ及びレクリエーション等余暇のための便宜の供与、(4)その他女性労働者の福祉を増進するために必要な事業を実施している。当施設は、市が直接管理し、施設の維持管理等の保守点検を民間の専門業者に委託している。
 委託内容：各種設備の保守点検業務、清掃業務、空調機保守点検業務、浄化槽維持管理業務など
 開館時間 平日：9時00分～21時00分、土曜：9時00分～17時00分
 休館日 日曜、休日、年末年始
 施設の利用方法 使用許可申請
 H29年度より使用料を改定
 会議室：150円、相談室：150円、研修室(和室)：200円、研修室(洋室)：200円、軽運動室：220円、調理実習室：240円

活動指標 (事務事業の活動量)	単位	平成30年度 (実績)	平成31年度 (見込)	令和2年度 (見込)	令和3年度 (見込)
ア 開館日数	日	292	294	290	293
イ 職員の雇用数	人	3	3	3	3
ウ					

(2) 事務事業の目的

対象 (誰、何を対象にしているのか)	対象指標 (左記 対象の大きさを表す指標)	単位	平成30年度 (実績)	平成31年度 (見込)	令和2年度 (見込)	令和3年度 (見込)
ア 女性労働者	施設利用者のうち、女性労働者の数	人	3,519	5,500	3,723	3,400
イ 勤労者家庭の女性	施設利用者のうち、勤労者家庭の女性の数	人	9,140	9,000	8,876	9,000
ウ						

意図 (対象をどうしたいのか)	成果指標 (左記 意図の達成度を表す指標)	単位	平成30年度 (実績)	平成31年度 (目標)	令和2年度 (目標)	令和3年度 (目標)
ア 職業に関する相談及び指導を行う	女性相談の件数	件	80	80	65	80
イ グループ活動、スポーツ及びレクリエーション等余暇のための便宜の供与	自主グループ数	団体	41	42	41	43
ウ						

(3) 総合計画との関係
基本事業の目的、取組方針 (総合計画より)
 多様化・高度化するニーズに対応し、関係機関と連携した学習機会や学習内容の充実に努めるとともに、市民が、必要な情報を容易に入手できるよう、広報誌や図書館システムなどを活用した情報提供を行います。
 また、社会教育施設の改修やメディアセンター等の機器の更新を通じ、市民が利用しやすい学習環境の整備に努めるとともに、社会教育における学びを通して、地域を知り、課題に気づくことで、その解決に向けた活動に繋がる場や機会の充実に努めます。

3. 前年度の評価表に記載した課題		4. 事業費の推移					
平成31年度の改善改革の内容(取り組むべき課題) 新たな利用者の増大を図る。施設の電気設備については更新時期を大幅に超過している設備が多くあることから、年次的に修繕を行っていく。平成31年度は、高圧開閉機器取替に係る費用を予算計上している。		単位	30年度 決算	31年度 当初予算	2年度 当初予算	3年度 計画	
投入量	事業費	千円	0	0	0	0	
	国庫支出金	千円	0	0	0	0	
	県支出金	千円	0	0	0	0	
	地方債	千円	0	0	0	0	
	その他	千円	58	76	537	61	
	一般財源	千円	6,806	8,818	8,028	10,475	
	事業費	千円	6,864	8,894	8,565	10,536	

5. 平成31年度の実績及び成果

(1) 平成31年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載> 霧島市働く女性の家の管理運営。 施設の維持管理、保守点検。 利用者数：13,030人	(2) 平成31年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載> 適切な施設の維持管理ができた。 電気設備の計画的な修繕ができた。
--	---

事務事業 番号	02117	事務 事業名	働く女性の家維持管理事業	担当部	商工観光部
				担当課	商工観光施設課

6. 振り返り <SEE (check)>		
A 目的 妥当性	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついていますか？	・この事業をなぜ市が行わなければならないですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？
	結びついている	市が実施すべき事業又は実施しなければならない事業である
	間接的に結びついている	市が実施することは妥当である
	結びついていない	見直す必要がある
B 有効性	成果が向上する余地（可能性）はありませんか？	廃止・休止の影響はありませんか？
	向上する余地はかなりある	影響がある
	向上する余地はある程度ある	影響はある程度ある
	向上する余地はほとんどない	影響はほとんどない
C 効率性	・事務事業の手段（やり方）を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？	・事務事業の手段（やり方）を工夫することで、人件費（延べ業務時間）を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？
	削減できない	削減できない
	削減する余地はある程度ある	削減する余地はある程度ある
	削減できる	削減できる
D 公平性	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？	
	公平・公正である	
	見直す必要がある	

総合評価判定基準	総合評価	理由
A:継続して取り組むことが適当（やり方改善含む。） B:事業規模・内容・実施主体の見直しの検討 C:事業の統合、休・廃止の検討	A	本事業は女性労働者及び勤労者家庭の女性の福祉の増進を図るための事業であり、市民が利用しやすい環境を整えることは目的に結びついている。指定管理者制度の導入により、開館日や託児等を利用者のニーズに合うよう柔軟に対応することが出来れば、利便性が高まり、利用者が増える可能性がある。事業費は施設の維持管理費と人件費のみであるため削減余地はない。条例、規則に基づき、使用料の徴収・減免を行っており、利用者は公平な条件で扱われている。

7. 1次評価結果 <PLAN (Action - Plan)> (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性 << 継続・やり方改善 >>			
(1) 今後の事務事業の改革改善の方向性	の事業 方向性 (成果)	拡 充			
	維 持			レ	
	縮 小				
	休廃止（統合含む）				
		皆 減	縮 小	維 持	拡 大
		コスト投入（予算）の方向性			
(2) 令和2年度の改革改善の内容 (取り組むべき課題)	引き続き、新たな利用者の増大を図る。 施設の電気設備については、更新時期を大幅に超過している設備が多くあることから、年次的に修繕を行っていく。令和2年度は、令和元年度に落雷により火災報知機を優先的に修繕したため、執行を見送った高圧開閉機器取替に係る費用を再度予算計上している。 また、令和2年度は霧島市が鹿児島県女性の家連絡協議会の幹事となっているため、定例会の準備を進めていく。				
(3) 令和3年度の方向性 (具体的な取組)	鹿児島県働く女性の家連絡協議会（6市加盟）で他館の状況把握を行いながら、より良い維持管理を行う。また、修繕が必要な設備が多くあるため、優先順位を決め、計画的に修繕していく。				

8. 2次評価結果 (担当部長評価)		評価者	職・氏名
(1) 今後の事務事業の改革改善の方向性	の事業 方向性 (成果)	拡 充	
	維 持		
	縮 小		
	休廃止（統合含む）		
		皆 減	縮 小
			維 持
			拡 大
		コスト投入（予算）の方向性	
(2) 総評			

1. 基本情報						
事務事業番号	02118	事務事業名	働く女性の家講座開催事業	担当部	商工観光部	
政策名	004	はぐくみ(社会を生き抜く力と生涯を通じて学びあう力を育むまちづくり)		担当課	商工観光施設課	
施策名	002	多様な学びを支援する社会教育の充実		担当課長	秋窪 達郎	
基本事業名	003	自ら学び、高め合う体制づくりと学習環境の充実		グループ	施設管理グループ	
予算科目目	会計 一般会計 款 05 労働費 項 01 労働諸費 目 01 働く女性の家事業費	事業期間	単年度のみ 単年度繰返(開始年度 ~) 期間限定複数年度(~)			
評価区分	標準評価	評価対象	1次評価	根拠法令・条例等	霧島市働く女性の家の設置及び管理に関する条例	
内線番号	2614					

2. 事務事業の概要・目的・指標<Do>						
(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)						
豊かな生活と女性の地位向上のために家庭や職場に必要な知識・技術を取得できるよう、スポーツ、レクリエーション、グループ活動等を通じて女性の福祉の増進を図ることを目的とした各種講座を開催している。						
【定期講座前期】 5月～8月 6講座 受講料：1講座につき1,000円						
【定期講座後期】 10月～2月 6講座 受講料：1講座につき1,000円						
【短期講座】 8月 1講座 受講料：無料						

活動指標 (事務事業の活動量)	単位	平成30年度 (実績)	平成31年度 (見込)	令和2年度 (見込)	令和3年度 (見込)
ア 講座数	講座	13	15	13	15
イ					
ウ					

(2) 事務事業の目的						
対象 (誰、何を対象にしているのか)	対象指標 (左記対象の大きさを表す指標)	単位	平成30年度 (実績)	平成31年度 (見込)	令和2年度 (見込)	令和3年度 (見込)
ア 市内に居住または勤務する18歳以上の女性	18歳以上の女性(市内居住)(4月1日時点の数値)	人	54,408	54,161	54,061	54,878
イ						
ウ						
意図 (対象をどうしたいのか)	成果指標 (左記意図の達成度を表す指標)	単位	平成30年度 (実績)	平成31年度 (目標)	令和2年度 (目標)	令和3年度 (目標)
ア 昼間、夜間に、多様な講座を受けることができる	講座への参加人数	人	250	310	195	250
イ						
ウ						

(3) 総合計画との関係

基本事業の目的、取組方針(総合計画より)

多様化・高度化するニーズに対応し、関係機関と連携した学習機会や学習内容の充実に努めるとともに、市民が、必要な情報を容易に入手できるよう、広報誌や図書館システムなどを活用した情報提供を行います。

また、社会教育施設の改修やメディアセンター等の機器の更新を通じ、市民が利用しやすい学習環境の整備に努めるとともに、社会教育における学びを通して、地域を知り、課題に気づくことで、その解決に向けた活動に繋がる場や機会の充実に努めます。

3. 前年度の評価表に記載した課題	
平成31年度の改善改革の内容(取り組むべき課題)	
平成30年度は応募が少ないという理由で、前期2講座、後期2講座、開講できなかった。募集した講座がすべて開講できるように、募集する講座を検討する。また、募集に係る広報に力を入れる。	

4. 事業費の推移		単位	30年度 決算	31年度 当初予算	2年度 当初予算	3年度 計画
事業費 投入量	財源内訳	国庫支出金	千円 0	0	0	0
		県支出金	千円 0	0	0	0
		地方債	千円 0	0	0	0
		その他	千円 225	280	196	280
		一般財源	千円 288	344	342	308
	事業費	千円 513	624	538	588	

5. 平成31年度の実績及び成果	
(1) 平成31年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>	(2) 平成31年度の実績(取組)による成果を記載
【定期講座前期】 5月～9月 受講料：1講座につき1,000円 募集7講座、開講7講座(ヨガ、生花、フラダンス、楽しい韓国語、フレッシュ体操、楽しい手話、手作り雑貨)	後期1講座、開講できなかった。目標値に対する実績値の開講した講座への参加率は、親子講座が台風のため中止になったため63%であったが、一定の女性の福祉の増進を図ることができた。
【定期講座後期】 10月～2月 受講料：1講座につき1,000円 募集7講座、開講6講座(ヨガ、生花、フラダンス、フレッシュ体操、アロマセラピー、はじめてのパン作り)	
【親子座】 8月 受講料：無料(材料費別途負担) 台風のため中止	

事務事業 番号	02118	事務 事業名	働く女性の家講座開催事業	担当部	商工観光部
				担当課	商工観光施設課

6. 振り返り <SEE (check) >		
A 目的 妥当 性	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついていますか？	・この事業をなぜ市が行わなければならないですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？
	結びついている	市が実施すべき事業又は実施しなければならない事業である
	間接的に結びついている	市が実施することは妥当である
	結びついていない	見直す必要がある
B 有効 性	成果が向上する余地（可能性）はありませんか？	廃止・休止の影響はありませんか？
	向上する余地はかなりある	影響がある
	向上する余地はある程度ある	影響はある程度ある
	向上する余地はほとんどない	影響はほとんどない
C 効率 性	・事務事業の手段（やり方）を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？	・事務事業の手段（やり方）を工夫することで、人件費（延べ業務時間）を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？
	削減できない	削減できない
	削減する余地はある程度ある	削減する余地はある程度ある
	削減できる	削減できる
D 公平 性	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？	
	公平・公正である	
	見直す必要がある	

総合評価判定基準	総合評価	理由
A:継続して取り組むことが適当（やり方改善含む。） B:事業規模・内容・実施主体の見直しの検討 C:事業の統合、休・廃止の検討	A	本事業は、昼間・夜間に親子講座を含む多様な講座を開催することにより、市内に居住または勤務する女性がそれぞれの意欲に応じて学習できる機会が得られるので目的に結びついている。また、各種講座を安い受講料で実施することは、民間では不可能であり、受講しやすく、学習に対する意欲が満たされることにつながっている。講師謝金が大部分を占め、講座数や開催回数を見直すなど経費削減に努めている。運営費についても最低限の費用で実施しており削減余地はない。

7. 1次評価結果 <PLAN (Action - Plan) > (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性 継続・やり方改善 << >>			
(1) 今後の事務事業の改革改善の方向性	の事業(成果)の方向性	拡充			
		維持			レ
		縮小			
	休廃止(統合含む)				
		皆減	縮小	維持	拡大
		コスト投入(予算)の方向性			
(2) 令和2年度の改革改善の内容(取り組むべき課題)	募集した講座がすべて開講できるように、募集する講座を検討する。 また、募集に係る広報に力を入れる。				
(3) 令和3年度の方向性(具体的な取組)	引き続き募集に係る方法の見直しを実施していくとともに、対象者の意欲や必要に応じられるよう受講生にアンケートを実施する。				

8. 2次評価結果(担当部長評価)		評価者	職・氏名
(1) 今後の事務事業の改革改善の方向性	の事業(成果)の方向性	拡充	
		維持	
		縮小	
	休廃止(統合含む)		
		皆減	縮小 維持 拡大
		コスト投入(予算)の方向性	
(2) 総評			

1. 基本情報						
事務事業番号	02119	事務事業名	丸岡会館等管理運営事業	担当部	商工観光部	
政策名	002	くらし(みどりあふれる快適で暮らし続けたいまちづくり)		担当課	商工観光施設課	
施策名	004	地域特性に応じた魅力ある空間の形成		グループ	施設管理グループ	
基本事業名	002	公園・広場等の整備と適切な維持管理		内線番号	2615	
予算科目目	会計	一般会計		事業期間	単年度のみ	
	款	05	労働費		単年度繰返(開始年度 昭和59年度 ~)	
	項	01	労働諸費		期間限定複数年度(~)	
目	目	02	労働施設費	根拠法令・条例等	霧島市丸岡会館の設置及び管理に関する条例等	
評価区分	標準評価	評価対象	1次評価	関連計画		

2. 事務事業の概要・目的・指標<Do>							
(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)							
施設：丸岡会館(霧島市横川農村勤労福祉センター)及び霧島市横川勤労者技術研修館 所在地：霧島市横川町上ノ3201番地54 開館時間：午前9時から午後10時まで(食堂：午前9時から午後8時まで、食事は11時から) 休館日 毎週火曜日 利用料金 集会室：350円(440円) 小研修室：250円(290円) 技術研修館：200円(150円) 研修室：150円(90円)(単位：時間) (平成29年4月1日改正前金額) 指定管理者 きりしまPPP株式会社 指定管理期間 平成29年4月1日～令和4年3月31日							
活動指標 (事務事業の活動量)			単位	平成30年度 (実績)	平成31年度 (見込) (実績)	令和2年度 (見込)	令和3年度 (見込)
ア	指定施設数	施設		2	2	2	2
イ							
ウ							
(2) 事務事業の目的							
対象 (誰、何を対象にしているのか)		対象指標 (左記対象の大きさを表す指標)	単位	平成30年度 (実績)	平成31年度 (見込) (実績)	令和2年度 (見込)	令和3年度 (見込)
ア	施設利用者	施設を利用した人数	人	42,325	39,039	38,592	38,000
イ							
ウ							
意図 (対象をどうしたいのか)		成果指標 (左記意図の達成度を表す指標)	単位	平成30年度 (実績)	平成31年度 (目標) (実績)	令和2年度 (目標)	令和3年度 (目標)
ア	研修及び各種会合等や保養と福祉の増進に利用する	利用者アンケート「総合的な施設の印象」の「期待した以上に良かった」等の割合	%	57.50	66	60.20	66
イ							
ウ							
(3) 総合計画との関係							
基本事業の目的、取組方針(総合計画より)							
地域性等を考慮し、利用者の視点に立った多様なニーズに対応した公園づくりを進め、公園緑地の充実を図るとともに、公園施設の定期的な点検を実施し、利用者の安全確保に努めます。 また、地域住民と連携した公園の維持管理を推進します。							

3. 前年度の評価表に記載した課題		4. 事業費の推移					
平成31年度の改善改革の内容(取り組むべき課題) 今年度予算計上している備品購入について、迅速対応するとともに、緊急性、必要性の高い修繕、備品購入などは年次的な計画を立て業務を円滑に、働き方改革等に伴うおが桜苑(レストラン)の営業時間の見直しに向け、指定管理者と協議を進める。		単位	30年度 決算	31年度 当初予算	2年度 当初予算	3年度 計画	
投入量	事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	
		県支出金	千円	0	0	0	
		地方債	千円	0	0	0	
		その他	千円	0	0	56	
		一般財源	千円	16,446	14,981	14,998	
	事業費	千円	16,446	14,981	15,054	14,942	

5. 平成31年度の実績及び成果	
(1) 平成31年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>	(2) 平成31年度の実績(取組)による成果を記載
<ul style="list-style-type: none"> 指定管理料(当課分H31.4~R01.3月分) 14,025千円 (丸岡公園全体で原油価格変動と遊具等の修繕に係る補填あり) 施設利用者数38,074人(飲食関係:35,465人、会議室2,609人) まるおか桜苑 空調機1台(故障による買替)182,520円 冷蔵庫2台(故障による買替)476,280円、234,360円 	<ul style="list-style-type: none"> 指定管理者による適正な管理運営がなされた。 故障した備品の買い替えにより、サービスの向上及び施設の機能を確保した。 研修及び各種会合等の利用により、市民の保養と福祉の増進が図られた。

事務事業 番号	02119	事務 事業名	丸岡会館等管理運営事業	担当部	商工観光部
				担当課	商工観光施設課

6. 振返り <SEE (check) >		
A 目的 妥当 性	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついていますか？	・この事業をなぜ市が行わなければならないですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？
	結びついている	市が実施すべき事業又は実施しなければならない事業である
	間接的に結びついている	市が実施することは妥当である
	結びついていない	見直す必要がある
B 有効 性	成果が向上する余地（可能性）はありませんか？	廃止・休止の影響はありませんか？
	向上する余地はかなりある	影響がある
	向上する余地はある程度ある	影響はある程度ある
	向上する余地はほとんどない	影響はほとんどない
C 効率 性	・事務事業の手段（やり方）を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？	・事務事業の手段（やり方）を工夫することで、人件費（延べ業務時間）を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？
	削減できない	削減できない
	削減する余地はある程度ある	削減する余地はある程度ある
	削減できる	削減できる
D 公平 性	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？	
	公平・公正である	
	見直す必要がある	

総合評価判定基準	総合評価	理由
A:継続して取り組むことが適当（やり方改善含む。） B:事業規模・内容・実施主体の見直しの検討 C:事業の統合、休・廃止の検討	A	本事業は指定管理者制度を導入しており、当施設を保養と福祉の増進のために各種会合等の場として利用することで目的に結びついている。市民の労働環境等の充実を図ることは重要であるが、利用者数の減少や施設の老朽化を含め、公共施設管理計画に基づき、施設（機能）の見直しを図る必要がある。老朽化した施設の更新を計画的に行いながら、レストランのメニューの見直しを行うなど、向上の余地はある程度ある。事業費の削減は施設の管理運営に支障があり難しい。

7. 1次評価結果 <PLAN (Action - Plan) > (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性 << 継続・やり方改善 >>			
(1) 今後の事務事業の改革改善の方向性	の事業(成果)の方向性	拡充			
		維持		レ	
(2) 令和2年度の改革改善の内容(取り組むべき課題)	の事業(成果)の方向性	縮小			
		休廃止(統合含む)			
		皆減	縮小	維持	拡大
		コスト投入(予算)の方向性			
(3) 令和3年度の方向性(具体的な取組)	の事業(成果)の方向性	今年度予算計上している備品購入(冷蔵庫)について、迅速に対応するとともに、緊急性の高い修繕などは年次的な計画を立て業務を行う。働き方改革等に伴うまるおか桜苑(レストラン)の営業時間の見直しに向け、指定管理者と協議を進める。			
		施設設備の修繕、備品購入など計画的に行う。また、令和4年度からの次期指定管理に向けて、霧島市公共施設管理計画に基づき、今後の施設のあり方を検討しながら、引き続き指定管理者による管理運営を行うための公募事務を進める。			

8. 2次評価結果(担当部長評価)		評価者	職・氏名
(1) 今後の事務事業の改革改善の方向性	の事業(成果)の方向性	拡充	
		維持	
(2) 総評	の事業(成果)の方向性	縮小	
		休廃止(統合含む)	
		皆減	縮小 維持 拡大
		コスト投入(予算)の方向性	

1. 基本情報						
事務事業番号	02140	事務事業名	関平鉱泉水販売・管理運営事業		担当部	商工観光部
政策名	006	しんらい(信頼される行政経営によるまちづくり)			担当課	商工観光施設課
施策名	002	持続可能な財政運営の推進			担当課長	秋窪 達郎
基本事業名	001	歳入に見合った予算編成と適正な予算執行			グループ	関平鉱泉水販売所
予算科目	会計 一般会計	事業期間	単年度のみ 単年度繰返(開始年度 昭和51年度 ~) 期間限定複数年度(~)			
目	02 総務費	根拠法令・条約等	霧島市営関平温泉・霧島市営関平鉱泉水販売所の設置及び管理に関する			
	01 総務管理費	関連計画	特になし			
	17 関平温泉施設費					
評価区分	標準評価	評価対象	2次評価			

2. 事務事業の概要・目的・指標<Do>						
(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)						
<p>関平鉱泉水販売所は、昭和51年に、市民及び一般来訪者の保養と福祉、併せて市民生活の向上・収入の確保を目的に設置され、鉱泉水の製造・販売を行っている。本事業では、販売所の施設管理及び鉱泉水の販売促進のため、宣伝・広報活動やクレームへの適切な対応を行うものである。</p> <p>【鉱泉水】20L(1,000円)・10L(600円)・10L2個入(1,200円)・ペットボトル2L・500ml他</p> <p>【主な販売促進手法】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・関平鉱泉水のCM制作・ポイントカードの作成 ・宣伝活動の実施 ・市内宅配サービスの実施 ・クレーム対応 ・HCCAP取得の取組 <p>【営業時間】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・8:30から17:00まで(4月から9月までは18:00まで営業) 						

活動指標 (事務事業の活動量)	単位	平成30年度 (実績)	平成31年度 (見込)	令和2年度 (見込)	令和3年度 (見込)
ア 宣伝活動の実施回数	回	15	15	30	30
イ 経営強化会議の開催回数	回	12	12	12	12
ウ					

(2) 事務事業の目的						
対象 (誰、何を対象にしているのか)	対象指標 (左記 対象の大きさを表す指標)	単位	平成30年度 (実績)	平成31年度 (見込)	令和2年度 (見込)	令和3年度 (見込)
ア 市民、顧客	人口	人	124,785	126,230	124,367	124,181
イ						
ウ						
意図 (対象をどうしたいのか)	成果指標 (左記 意図の達成度を表す指標)	単位	平成30年度 (実績)	平成31年度 (目標)	令和2年度 (目標)	令和3年度 (目標)
ア 関平鉱泉水を適正な価格で購入できる。	関平鉱泉水の売上高	千円	237,566	400,000	242,302	400,000
イ						
ウ						

(3) 総合計画との関係						
基本事業の目的、取組方針 (総合計画より)						
<p>市税や使用料等の安定的な確保や、定期的な使用料・手数料の検証による受益者負担の適正化に加え、未利用財産の売却処分等を行うことで積極的な財源確保に努めます。</p> <p>また、市債残高の縮減による公債費の削減や経費全般にわたる見直しに取り組み、限られた財源の中で社会情勢等を踏まえた事業の選択と集中を行い、収支不足額の抑制を図ります。</p> <p>さらに、予算執行基準等の徹底を図ることで、公共工事などにおける公正性・公平性を確保し、適正な予算執行に努めます。</p>						

3. 前年度の評価表に記載した課題	
平成31年度の改善改革の内容(取り組むべき課題)	
<p>通年でテレビ、ラジオ、新聞、WEB等で関平鉱泉水のPRを実施することにより、付加価値の向上や売上増加を図る。</p> <p>また、関平鉱泉水機能性評価試験等を研究機関に委託し、その研究成果により、メディアへの情報発信や学会での発表、記者発表等を実施することにより、付加価値の向上や売上増加を図る。</p>	

4. 事業費の推移		単位	30年度 決算	31年度 当初予算	2年度 当初予算	3年度 計画
事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	0
	県支出金	千円	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0
	その他	千円	323,130	371,575	360,893	370,323
	一般財源	千円	0	0	0	0
事業費		千円	323,130	371,575	360,893	370,323

5. 平成31年度の実績及び成果	
(1) 平成31年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>	(2) 平成31年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>
<p>鉱泉水使用料 242,302,000円</p> <p>関平温泉売上 10,967,000円</p> <p>関平温泉入浴用品売上 275,000円</p> <p>関平鉱泉水送料売上 40,637,000円</p> <p>基金繰入金 60,780,000円</p> <p>基金利子 150,000円</p> <p>特産品販売所光熱水費 483,000円</p> <p>その他 78,000円</p> <p>平成30年度決算剰余金 15,035,000円</p> <p>計 370,707,000円</p>	<p>関平鉱泉水のCMを制作し、テレビ、ラジオ、FMきりしまなどのメディア広告を活用し、販売促進を図った。また、関平鉱泉水の付加価値を高め、更なる需要の拡大や他分野への応用による新たな販路の拡大を目指し、関平鉱泉水販売の機能強化を図ることを目的とし、大学等の研究機関との連携を図り、関平鉱泉水の機能性評価試験を実施した。議会だよりで関平鉱泉水特集として安否確認を併う市内宅配サービスを掲載することで登録利用者が増加した。令和2年10月に開催予定の「かごしま国体と全国障害者スポーツ大会」を記念し、大会ロゴやマスコット、霧島市開催の競技・日程を掲載した「関平鉱泉水の記念ボトル」を製造し、機運を高め販売促進を図った。さらに、関平鉱泉水の知名度アップのためのラジオ番組出演等によるPR活動、各種イベントに積極的に参加し売上の増加を図り、迅速かつ確実なクレーム対応を行った結果、市民(顧客)に対して安定した鉱泉水の供給が出来た。</p> <p>令和元年度の純利益：46,938,028円</p>

事務事業 番号	02140	事務 事業名	関平鉱泉水販売・管理運営事業	担当部	商工観光部
				担当課	商工観光施設課

6. 振返り <SEE (check) >			
A 目的 妥当 性	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついていますか？	・この事業をなぜ市が行わなければならないですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？	
	結びついている	市が実施すべき事業又は実施しなければならない事業である	
	間接的に結びついている	市が実施することは妥当である	
	結びついていない	見直す必要がある	
B 有効 性	成果が向上する余地（可能性）はありませんか？	廃止・休止の影響はありませんか？	
	向上する余地はかなりある	影響がある	
	向上する余地はある程度ある	影響はある程度ある	
	向上する余地はほとんどない	影響はほとんどない	
C 効率 性	・事務事業の手段（やり方）を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？	・事務事業の手段（やり方）を工夫することで、人件費（延べ業務時間）を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？	
	削減できない	削減できない	
	削減する余地はある程度ある	削減する余地はある程度ある	
	削減できる	削減できる	
D 公平 性	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？		
	公平・公正である		
	見直す必要がある		
総合評価判定基準		総合評価	理由
A:継続して取り組むことが適当（やり方改善含む。） B:事業規模・内容・実施主体の見直しの検討 C:事業の統合、休・廃止の検討		A	関平鉱泉水を市民（顧客）が適正な価格で購入し愛飲してもらう事は、受益にあった使用料等の負担をしてもらうことに結びついており、市の収入確保において妥当である。宣伝・広告等を積極的に実施することにより、売上向上の余地があり、販売中止となれば、市民サービス等の低下に繋がる。販売収入で事業を実施しており市の財政的負担はないが、現場での管理職員は昨年度から1名のため、これ以上の削減はできない。条例に基づく販売代金を徴収しているため公平である

7. 1次評価結果 <PLAN (Action - Plan) > (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性 継続・やり方改善 < >			
(1) 今後の事務事業の改革改善の方向性	の 事 業 向 性 (成 果)	拡 充			レ
		維 持			
		縮 小			
		休廃止（統合含む）			
		皆 減	縮 小	維 持	拡 大
		コスト投入（予算）の方向性			
(2) 令和2年度の改革改善の内容 (取り組むべき課題)	令和2年度もテレビ、ラジオ、新聞、WEB等で関平鉱泉水のPRを実施する。また、「かごしま国体と全国障害者スポーツ大会」を記念し、製作した期間限定ボトルの周知販売及び国体の機運を高めるとともに、20ℓ及び10ℓ等の箱類の商品について、ペットボトルと一貫性を持たせた新デザインを製作する。さらに、関平鉱泉水機能性評価試験の結果を活かし、更なる需要の拡大や他分野への応用による新たな販路の拡大を図る。				
(3) 令和3年度の方向性 (具体的な取組)	令和3年度については、新デザインによる20ℓ及び10ℓ等の箱類の製造及び関平鉱泉水機能性評価試験の結果を活かした広告宣伝及び商品表示を工夫するとともに、市内無料宅配を拡大し、県内外の他分野の業種及び大口販売店等への営業活動を実施する。				

8. 2次評価結果 (担当部長評価)		評価者	職・氏名	商工観光部長	谷口 隆幸
(1) 今後の事務事業の改革改善の方向性	の 事 業 向 性 (成 果)	拡 充			レ
		維 持			
		縮 小			
		休廃止（統合含む）			
		皆 減	縮 小	維 持	拡 大
		コスト投入（予算）の方向性			
(2) 総評	関平鉱泉は平成14年度に実施した鹿児島大学との共同研究結果発表により、飛躍的に売上が倍増したものの、それ以降は年々販売額が減少し、前年度を下回る状況が続いている。要因としては、ミネラルウォーターの市場拡大に伴い、多くの商品が販売されるようになったことに加え、消費者は、より安価な商品を求める傾向にあることなどが推測されるところである。競合他社との顧客獲得競争を打開するためにも、同鉱泉の特性を活かした新たなエビデンスを実証する施策実施が求められたことから、令和元年度に昔から伝承されている皮膚への効能等に注目し、鹿児島純心女子大学と協議を重ね、皮膚に関する機能性評価試験を実施し、本年7月に実証結果について記者発表が行われた。今後の売上向上の施策としては、新たに確認された皮膚への健康効果を活かし、他分野への販路拡大等に注目するうえで、本事業の拡充に向けた事業展開を検討する必要がある。				

1. 基本情報						
事務事業番号	02144	事務事業名	スポーツ団体誘致歓迎実行委員会運営事業	担当部	商工観光部	
政策名	004	はぐくみ(社会を生き抜く力と生涯を通じて学びあう力を育むまちづくり)		担当課	商工観光施設課	
施策名	004	スポーツを楽しむ環境づくりの推進		グループ	施設管理グループ	
基本事業名	002	競技スポーツの推進		内線番号	2614	
予算科目目	会計	一般会計		事業期間	単年度のみ	
	款	07	商工費		単年度繰返(開始年度 平成 8年度 ~)	
	項	01	商工費		期間限定複数年度(~)	
	目	04	観光費		根拠法令・条例等 霧島市補助金交付規則等	
評価区分	標準評価	評価対象	1次評価	関連計画	霧島市観光総合戦略	

2. 事務事業の概要・目的・指標<Do>

(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)
 霧島市スポーツ団体誘致歓迎実行委員会に補助金を交付し、同実行委員会が行うスポーツ団体誘致活動を支援している。また、市は同実行委員会の事務局も担っている。
 (市の活動) 同実行委員会に補助金を支出するための手続きを行う。
 (実行委員会の活動) 団体誘致のためのセールス活動(年間)、歓迎セレモニーの実施(年間)、誘致団体との連絡調整(年間)。
 霧島市スポーツ団体誘致歓迎実行委員会とは、H8年よりJリーグをはじめとする各種スポーツ団体の合宿等を霧島市に誘致し、市の活性化と観光客の誘致を図ることを目的に発足した団体である。
 【平成31年度招致実績】
 大分トリニータ、モンテディオ山形、藤枝MYFC、FCソウル等 計15団体、1大会

活動指標(事務事業の活動量)	単位	平成30年度(実績)	平成31年度(見込)	令和2年度(見込)	令和3年度(見込)
ア 誘致活動回数	回	26	30	13	15
イ					
ウ					

(2) 事務事業の目的

対象(誰、何を対象にしているのか)	対象指標(左記対象の大きさを表す指標)	単位	平成30年度(実績)	平成31年度(見込)	令和2年度(見込)	令和3年度(見込)
ア スポーツ団体	現在誘致活動を行っている団体数	団体	62	60	12	50
イ 旅行エージェント	PRを行ったエージェント数	社	4	6	1	6
ウ 各種大会	現在誘致活動を行っている大会数	大会	3	3	1	3

意図(対象をどうしたいのか)	成果指標(左記意図の達成度を表す指標)	単位	平成30年度(実績)	平成31年度(目標)	令和2年度(目標)	令和3年度(目標)
ア 霧島市でキャンプを行ってもら	キャンプを行った団体(全体)	団体	18	21	15	21
イ 情報提供をしてもら	キャンプを行った団体(新規)	団体	7	7	4	7
ウ 霧島市で大会を実施してもら	実施した大会(全体)	大会	3	3	1	3

(3) 総合計画との関係

基本事業の目的、取組方針(総合計画より)
 年間を通して温暖な気候で全国有数の観光地でもある本市の特性を生かし、国内外を問わず、各種スポーツ団体のキャンプ等や各種大会を招致することにより、市の活性化や観光客の誘致によるスポーツ交流人口の拡大に努めます。
 また、トップアスリート選手によるスポーツ教室の開催など、各競技の底辺拡大や競技スポーツの向上に繋がる施策を展開します。
 さらに、「かごしま国体・かごしま大会」の開催を通して、市民の競技力向上や生涯にわたりスポーツ活動を継続できる環境づくりを目指します。

3. 前年度の評価表に記載した課題

平成31年度の改善改革の内容(取り組むべき課題)
 スポーツ合宿の更なる活性化のため、施設が飽和状態にあるサッカー・野球・ソフトボール以外の競技(ラグビー、ハンドボールなど)の誘致に積極的に取り組む。また、オリンピック・パラリンピック等国際大会の事前合宿等の誘致活動も行う。
 施設への受入体制などについては、関係課との連携を図るとともに、今後の体制のあり方について検討を行う。

4. 事業費の推移

事業費	単位	30年度	31年度		2年度	3年度
		決算	当初予算	決算	当初予算	計画
国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
県支出金	千円	0	0	0	0	0
地方債	千円	0	0	0	0	0
その他	千円	0	1,100	1,100	0	0
一般財源	千円	1,900	1,900	1,900	1,900	1,900
事業費	千円	1,900	3,000	3,000	1,900	1,900

5. 平成31年度の実績及び成果

(1) 平成31年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>	(2) 平成31年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>
県主催の団体誘致セミナー(福岡、関西)による誘致活動の他、これまで継続でキャンプをしている団体に対し、誘致活動を行った。 プロ・実業団のキャンプイン時に歓迎セレモニーを実施した。 また、オリンピック・パラリンピックやラグビーワールドカップ等各種国際大会の事前キャンプの誘致・受入について、協議を重ねた。	【継続団体】大分トリニータ、藤枝MYFC、FCソウル、ホンダエンジンアリングソフトボール部、太陽誘電女子ソフトボール部、新日鐵住金かずさマジックほか(計10団体) 【新規団体】学生野球2団体、陸上2団体(計4団体) 【誘致大会】鹿児島30Kマラソン

事務事業 番号	02144	事務 事業名	スポーツ団体誘致歓迎実行委員会運営事業	担当部	商工観光部
				担当課	商工観光施設課

6. 振返り <SEE (check) >		
A 目的 妥当 性	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついていますか？	・この事業をなぜ市が行わなければならないですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？
	結びついている	市が実施すべき事業又は実施しなければならない事業である
	間接的に結びついている	市が実施することは妥当である
	結びついていない	見直す必要がある
B 有効 性	成果が向上する余地（可能性）はありませんか？	廃止・休止の影響はありませんか？
	向上する余地はかなりある	影響がある
	向上する余地はある程度ある	影響はある程度ある
	向上する余地はほとんどない	影響はほとんどない
C 効率 性	・事務事業の手段（やり方）を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？	・事務事業の手段（やり方）を工夫することで、人件費（延べ業務時間）を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？
	削減できない	削減できない
	削減する余地はある程度ある	削減する余地はある程度ある
	削減できる	削減できる
D 公平 性	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？	
	公平・公正である	
	見直す必要がある	

総合評価判定基準	総合評価	理由
A: 継続して取り組むことが適当（やり方改善含む。） B: 事業規模・内容・実施主体の見直しの検討 C: 事業の統合、休・廃止の検討	A	スポーツキャンプはスポーツ観戦及び教室を通して、市民へのスポーツ普及、競技力の向上、交流人口の拡大等に寄与しており、サッカー、野球、ソフトボール以外の競技についても幅広く誘致することによって向上余地はある。事業を廃止するとスポーツ団体の誘致や交流人口の拡大等に影響があり、さらに誘致活動を展開するためには事業費の削減は困難である。一部の団体等に限定した事業ではなく、公平性が確保されているため、継続して取り組むことが適当である。

7. 1次評価結果 <PLAN (Action - Plan) > (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性 << 継続・やり方改善 >>			
(1) 今後の事務事業の改革改善の方向性	の事業 方向性 (成果)	拡充			
	維持			レ	
	縮小				
	休廃止（統合含む）				
		皆減	縮小	維持	拡大
コスト投入（予算）の方向性					
(2) 令和2年度の改革改善の内容 (取り組むべき課題)	スポーツ合宿の更なる活性化のため、施設が飽和状態にあるサッカー、野球、ソフトボール以外の協議（ラグビー、ハンドボールなど）の誘致に積極的に取り組む。また、オリンピック・パラリンピック等国際大会の事前合宿等の誘致活動も行う。 施設への受入については、関係課との連携を図るとともに、今後の体制のあり方について検討を行う。				
(3) 令和3年度の方向性 (具体的な取組)	スポーツ合宿の更なる活性化のため、施設が飽和状態にあるサッカー、野球、ソフトボール以外の競技（ラグビー、ハンドボールなど）誘致に積極的に取り組む。 施設への受入については、関係課との連携を図るとともに、今後の体制のあり方について検討を行う。				

8. 2次評価結果 (担当部長評価)		評価者	職・氏名
(1) 今後の事務事業の改革改善の方向性	の事業 方向性 (成果)	拡充	
	維持		
	縮小		
	休廃止（統合含む）		
		皆減	縮小 維持 拡大
コスト投入（予算）の方向性			
(2) 総評			

1. 基本情報						
事務事業番号	02150	事務事業名	観光案内板・電照看板設置事業	担当部	商工観光部	
政策名	001	にぎわい(産業の活力があふれ、交流と賑わいが生まれるまちづくり)		担当課	商工観光施設課	
施策名	004	地域特性を生かした観光の推進		担当課長	寶徳 太	
基本事業名	001	国内外の観光客の誘致		グループ	PR推進グループ	
予算科目目	会計 一般会計 款 07 商工費 項 01 商工費 目 04 観光費	事業期間	単年度のみ 単年度繰返(開始年度 ~) 期間限定複数年度(~)			
評価区分	標準評価	評価対象	1次評価	根拠法令・条例等	特になし	
				関連計画	霧島市観光総合戦略	

2. 事務事業の概要・目的・指標<Do>

(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)

新幹線、JR在来線及び飛行機を利用し鹿児島県を訪れた観光客に対して本市への誘致を図るため、観光PR広告看板を設置。
 ・昭和50年代に隼人駅前及び隼人駅構内、日当山駅前に観光案内看板を設置(3枚)
 ・平成16年に九州新幹線が開通したことに伴い、鹿児島中央駅に電照看板を設置(1枚)
 ・平成26年度に隼人町小浜地区の国道10号沿いに温泉案内看板を設置(1枚)
 ・平成27年度に地方創生事業により、鹿児島空港国際線出発口に電照看板(1枚)及び外国語表記を記載した観光案内板を設置(43箇所)

電照看板とは・・・カラーフィルムに裏から照明をあてて広告するもの

活動指標(事務事業の活動量)	単位	平成30年度(実績)	平成31年度(見込)	令和2年度(見込)	令和3年度(見込)
ア 設置枚数	枚	49	50	49	50
イ					
ウ					

(2) 事務事業の目的

対象(誰、何を対象にしているのか)	対象指標(左記対象の大きさを表す指標)	単位	平成30年度(実績)	平成31年度(見込)	令和2年度(見込)	令和3年度(見込)
ア 観光客	霧島市を訪れる観光客(宿泊+日帰り)	人	7,606,885	7,797,236	7,489,312	7,875,208
イ						
ウ						

意図(対象をどうしたいのか)	成果指標(左記意図の達成度を表す指標)	単位	平成30年度(実績)	平成31年度(目標)	令和2年度(実績)	令和3年度(目標)
ア 霧島市を知ることができる	看板を見た人(鹿児島中央駅鹿児島本線1日あたりの乗車人員)	人	20,834	21,000	0	21,000
イ 霧島市を知ることができる	看板を見た人(鹿児島空港国際線:乗降客数)	人	403,745	410,000	327,172	410,000
ウ						

(3) 総合計画との関係

基本事業の目的、取組方針(総合計画より)

日本初の国立公園「霧島」をはじめ、本市特有の歴史や文化、豊富な温泉や食などの多種多様な観光素材、空港や鉄道、高速道路などが整備された、観光地としてのポテンシャルを最大限に生かすため、霧島市観光協会をはじめとする観光関係団体や地域と一体となった誘客活動を更に推進します。

また、国内外において本市の知名度を向上させるため、「観光地・霧島」のブランドの方向性を明確にするとともに、SNSなど市民による情報発信力の強化など、様々な手法による戦略的な情報発信の取組を推進します。

3. 前年度の評価表に記載した課題		4. 事業費の推移						
平成31年度の改善改革の内容(取り組むべき課題)		単位	30年度決算	31年度当初予算	31年度決算	2年度当初予算	3年度計画	
引き続き、限られたスペースで効果的に本市をPRできるように内容を常に確認し、最新の観光情報に更新するなど、漏れがないようにしていく。		事業費 投入量	国庫支出金	千円	0	0	0	0
			県支出金	千円	0	0	0	0
			地方債	千円	0	0	0	0
			その他	千円	0	0	0	0
			一般財源	千円	3,101	2,836	2,759	2,861
			事業費	千円	3,101	2,836	2,759	2,861

5. 平成31年度の実績及び成果

(1) 平成31年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>	(2) 平成31年度の実績(取組)による成果を記載
<p>【広告料等実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> 鹿児島中央駅コンコース電照広告料(観光周遊バス) 1,308,000円 日当山駅建植看板広告料(市内観光マップ) 67,580円 鹿児島空港看板広告料(本市観光PR) 1,199,000円 観光案内板設置土地借上料(市内各地) 184,650円 	<p>鹿児島県の陸の玄関口である鹿児島中央駅、空の玄関口である鹿児島空港に本市の魅力ある観光素材を活用したPR広告を掲出することで、市内外に向けて効果的にPRを実施し、本市の認知度向上及び観光客の誘客促進を図ることができた。</p> <p>また、人の行き来が多い駅、交通量の多い道路及び観光施設に外国語表記を記載した統一デザインの観光案内板を設置することで、本市を訪れた観光客が市内を周遊しやすい環境を整えた。</p>

事務事業 番号	02150	事務 事業名	観光案内板・電照看板設置事業	担当部	商工観光部
				担当課	商工観光施設課

6. 振り返り <SEE (check) >		
A 目的 妥当性	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついていますか？	・この事業をなぜ市が行わなければならないですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？
	結びついている	市が実施すべき事業又は実施しなければならない事業である
	間接的に結びついている	市が実施することは妥当である
	結びついていない	見直す必要がある
B 有効性	成果が向上する余地（可能性）はありませんか？	廃止・休止の影響はありませんか？
	向上する余地はかなりある	影響がある
	向上する余地はある程度ある	影響はある程度ある
	向上する余地はほとんどない	影響はほとんどない
C 効率性	・事務事業の手段（やり方）を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？	・事務事業の手段（やり方）を工夫することで、人件費（延べ業務時間）を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？
	削減できない	削減できない
	削減する余地はある程度ある	削減する余地はある程度ある
	削減できる	削減できる
D 公平性	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？	
	公平・公正である	
	見直す必要がある	
総合評価判定基準		総合評価
A:継続して取り組むことが適当（やり方改善含む。） B:事業規模・内容・実施主体の見直しの検討 C:事業の統合、休・廃止の検討		A
		理由 本事業については、国内外に向けた本市の認知度向上及び本市への誘客促進を図るための有効な手段の一つであることから、掲出箇所ごとの効果検証を行いつつ、引き続き、本市の魅力ある観光素材を活用したPR広告掲出を行っていく必要がある。

7. 1次評価結果 <PLAN (Action - Plan) > (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性 << 継続・やり方改善 >>			
(1) 今後の事務事業の改革改善の方向性	の事業 方向性 (成果)	拡充			
		維持			レ
		縮小			
		休廃止（統合含む）			
		皆減	縮小	維持	拡大
		コスト投入（予算）の方向性			
(2) 令和2年度の改革改善の内容 (取り組むべき課題)	新型コロナウイルスの影響により大幅に観光客が減少していることから、本市における誘客対策事業関連PR広告掲出、市外の多くの方々に効果的なPR実施を見込める新たな広告掲出枠の確保するなどの検討を行い、更なる誘客促進を図っていく必要がある。				
(3) 令和3年度の方向性 (具体的な取組)	その時々々の情勢に適した観光素材を活用し、国内外に向けてより効果的に本市をPRできるよう工夫していく必要がある。				

8. 2次評価結果 (担当部長評価)		評価者				職・氏名	
(1) 今後の事務事業の改革改善の方向性	の事業 方向性 (成果)	拡充					
		維持					
		縮小					
		休廃止（統合含む）					
		皆減	縮小	維持	拡大		
		コスト投入（予算）の方向性					
(2) 総評							

1. 基本情報						
事務事業番号	02164	事務事業名	日当山観光案内所管理運営事業		担当部	商工観光部
政策名	001	にぎわい(産業の活力があふれ、交流と賑わいが生まれるまちづくり)			担当課	商工観光施設課
施策名	004	地域特性を生かした観光の推進			担当課長	寶徳 太
基本事業名	001	国内外の観光客の誘致			グループ	観光振興グループ
予算科目目	会計 一般会計 款 07 商工費 項 01 商工費 目 04 観光費	事業期間	単年度のみ 単年度繰返(開始年度 ~) 期間限定複数年度(~)			
評価区分	標準評価	評価対象	1次評価		根拠法令・条約等	
			関連計画			

2. 事務事業の概要・目的・指標<Do>						
(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)						
平成31年1月より日当山西郷どん村内において観光案内所を開設し、国分・隼人における観光案内業務の強化と市全体の情報発信を図り、地域活性化に繋げる。						
委託先：公益社団法人霧島市観光協会 スタッフの雇用及び育成・観光案内・情報発信・問い合わせ対応・特産品等PR・レンタサイクル受付 等						
活動指標 (事務事業の活動量)		単位	平成30年度 (実績)	平成31年度 (見込)	令和2年度 (見込)	令和3年度 (見込)
ア	観光客数(宿泊+日帰り)	千人	7,606,885	7,797,200	7,489,312	7,875,200
イ						
ウ						
(2) 事務事業の目的						
対象 (誰、何を対象にしているのか)	対象指標 (左記対象の大きさを表す指標)	単位	平成30年度 (実績)	平成31年度 (見込)	令和2年度 (見込)	令和3年度 (見込)
ア	観光客	人	44,352	71,000	33,403	35,000
イ						
ウ						
意図 (対象をどうしたいのか)	成果指標 (左記意図の達成度を表す指標)	単位	平成30年度 (実績)	平成31年度 (目標)	令和2年度 (目標)	令和3年度 (目標)
ア	日当山西郷どん村で霧島市に関する情報を手にすることができる	人	43,944	15,000	15,261	16,000
イ						
ウ						
(3) 総合計画との関係						
基本事業の目的、取組方針(総合計画より)						
日本初の国立公園「霧島」をはじめ、本市特有の歴史や文化、豊富な温泉や食などの多種多様な観光素材、空港や鉄道、高速道路などが整備された、観光地としてのポテンシャルを最大限に生かすため、霧島市観光協会をはじめとする観光関係団体や地域と一体となった誘客活動を更に推進します。						
また、国内外において本市の知名度を向上させるため、「観光地・霧島」のブランドの方向性を明確にするとともに、SNSなど市民による情報発信力の強化など、様々な手法による戦略的な情報発信の取組を推進します。						

3. 前年度の評価表に記載した課題		4. 事業費の推移					
平成31年度の改善改革の内容(取り組むべき課題)		単位	30年度 決算	31年度 当初予算	2年度 当初予算	3年度 計画	
観光案内や情報提供・発信については、より観光客の満足度を高めるべく、大まかに物産館・レストランを運営する運営事業者や、西郷どんの宿でガイドを行う霧島市シルバー人材センターと協力し合い、地域活性化に繋がる取組を行って話題性の向上を図り、誘客促進に繋げる。		事業費	千円	0	0	0	0
		財源内訳	千円	0	0	0	
		国庫支出金	千円	0	0	0	
		県支出金	千円	0	0	0	
		地方債	千円	0	0	0	
		その他	千円	0	10,200	0	
		一般財源	千円	14,891	10,280	80	
		事業費	千円	14,891	10,280	10,109	

5. 平成31年度の実績及び成果	
(1) 平成31年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>	(2) 平成31年度の実績(取組)による成果を記載
実施内容：観光案内、館内案内、メディアへの情報提供、独自チラシの作成、開花情報更新、SNSでの情報発信、レンタサイクル受付 接客実績：15,261名	主に日当山西郷どん村を訪れる観光客や地元住民に対し、市内全域の観光案内のほか、アクセス案内、館内案内、レンタサイクルの貸出などを行って周遊促進と地域活性化に繋げた。また、問い合わせの多い季節の花の開花情報や自然関連情報、温泉施設の開館状況をこまめに情報収集し、分かりやすく掲示したり市観光協会のSNSで発信するなど、観光客の満足度向上とイメージアップに繋がった。

事務事業 番号	02164	事務 事業名	日当山観光案内所管理運営事業	担当部	商工観光部
				担当課	商工観光施設課

6. 振り返り <SEE (check) >		
A 目的 妥当 性	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついていますか？	・この事業をなぜ市が行わなければならないですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？
	結びついている	市が実施すべき事業又は実施しなければならない事業である
	間接的に結びついている	市が実施することは妥当である
	結びついていない	見直す必要がある
B 有効 性	成果が向上する余地（可能性）はありませんか？	廃止・休止の影響はありませんか？
	向上する余地はかなりある	影響がある
	向上する余地はある程度ある	影響はある程度ある
	向上する余地はほとんどない	影響はほとんどない
C 効率 性	・事務事業の手段（やり方）を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？	・事務事業の手段（やり方）を工夫することで、人件費（延べ業務時間）を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？
	削減できない	削減できない
	削減する余地はある程度ある	削減する余地はある程度ある
	削減できる	削減できる
D 公平 性	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？	
	公平・公正である	
	見直す必要がある	
総合評価判定基準		総合評価
A:継続して取り組むことが適当（やり方改善含む。） B:事業規模・内容・実施主体の見直しの検討 C:事業の統合、休・廃止の検討		A
		理由 本市観光情報の正確な発信により、訪問者の満足度向上とイメージアップに繋がっている。

7. 1次評価結果 <PLAN (Action - Plan) > (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性 << 継続・やり方改善 >>			
(1) 今後の事務事業の改革改善の方向性	の事業 方向性 (成果)	拡 充			
	維 持			レ	
	縮 小				
	休廃止（統合含む）				
		皆 減	縮 小	維 持	拡 大
		コスト投入（予算）の方向性			
(2) 令和 2年度の改革改善の内容 (取り組むべき課題)	正確で迅速な情報収集と工夫した発信により、訪問者の満足度と利便性の向上に繋がった。物産館、レストランの運営事業者や霧島市シルバーガイドとの関係性をより深め、市も一体となって集客力を高めるための工夫について協力していく必要がある。				
(3) 令和 3年度の方向性 (具体的な取組)	引き続き、国分・隼人地区の情報発信拠点及び周遊観光拠点としてはもちろん、日当山地区の活性化の拠点としての取組を意欲的に行う。				

8. 2次評価結果 (担当部長評価)		評価者				職・氏名	
(1) 今後の事務事業の改革改善の方向性	の事業 方向性 (成果)	拡 充					
	維 持						
	縮 小						
	休廃止（統合含む）						
		皆 減	縮 小	維 持	拡 大		
		コスト投入（予算）の方向性					
(2) 総評							

1. 基本情報						
事務事業番号	02293	事務事業名	観光案内所管理運営事業	担当部	商工観光部	
政策名	001	にぎわい(産業の活力があふれ、交流と賑わいが生まれるまちづくり)		担当課	商工観光施設課	
施策名	004	地域特性を生かした観光の推進		担当課長	秋窪 達郎	
基本事業名	003	利便性の高い観光地づくりの推進		グループ	施設管理グループ	
予算科目目	会計 一般会計 款 07 商工費 項 01 商工費 目 05 施設管理費	事業期間	単年度のみ 単年度繰返(開始年度 平成17年度 ~) 期間限定複数年度(~)			
評価区分	標準評価	評価対象	1次評価	根拠法令・条例等	霧島市観光案内所施設の設置及び管理に関する条例	
				関連計画	霧島市観光総合戦略	

2. 事務事業の概要・目的・指標<Do>						
(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)						
霧島市観光案内所は、霧島神宮大鳥居横の霧島市霧島田口2458番地10に位置する。観光客等に総合的案内、観光地の紹介、宣伝誘致を図り、観光客の便益に供するとともに市民の利便性に資するための施設である。 足湯、駐車場、トイレの管理や観光案内業務を通して、霧島市へ訪れた観光客に対しておもてなしを行っている。 指定管理者 公益社団法人 霧島市観光協会(直接指定)						
活動指標 (事務事業の活動量)						
	単位	平成30年度 (実績)	平成31年度 (見込)	令和2年度 (見込)	令和3年度 (見込)	
ア 営業日	日	361	362	362	361	361
イ						
ウ						
(2) 事務事業の目的						
対象 (誰、何を対象にしているのか)	対象指標 (左記 対象の大きさを表す指標)	単位	平成30年度 (実績)	平成31年度 (見込)	令和2年度 (見込)	令和3年度 (見込)
ア 観光客	案内人数	人	34,381	35,000	31,268	32,000
イ						
ウ						
意図 (対象をどうしたいのか)	成果指標 (左記 意図の達成度を表す指標)	単位	平成30年度 (実績)	平成31年度 (目標)	令和2年度 (目標)	令和3年度 (目標)
ア 観光客	足湯利用者	人	12,742	15,000	10,597	13,000
イ						
ウ						
(3) 総合計画との関係						
基本事業の目的、取組方針(総合計画より)						
国際線を有する空港所在都市としての強みを生かし、主要な交通結節点である空港や駅からの二次アクセスの強化を図ります。誰もが安心、快適に観光できるよう、施設などのユニバーサルデザイン化や多言語表記による案内板の設置、Wi-Fi及び超高速ブロードバンド環境の整備を促進します。 さらに、増加傾向にある外国人観光客の受入体制を強化するとともに、本市特有の自然、景観、歴史、文化を生かした観光地づくりを推進します。						

3. 前年度の評価表に記載した課題		4. 事業費の推移				
平成31年度の改善改革の内容(取り組むべき課題) 施設の維持管理、利用者に対する観光案内など、平成31年度も引き続き利用者が満足できるように事業を行う。指定管理者と連携し、足湯を利用する観光客が増えるようなPRに取り組む。		単位	30年度 決算	31年度 当初予算	2年度 当初予算	3年度 計画
事業費 投入量	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0
		県支出金	千円	0	0	0
		地方債	千円	0	0	0
		その他	千円	0	0	0
		一般財源	千円	5,709	5,462	5,461
	事業費	千円	5,709	5,462	5,461	5,512

5. 平成31年度の実績及び成果	
(1) 平成31年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>	(2) 平成31年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>
指定管理料 5,440,915円 観光案内所床修繕 313,200円 観光案内所足湯柱・浴槽板取替修繕 496,800円	・指定管理者による適正な管理運営がなされた。 ・老朽化が著しかった案内所内の床の修繕及び足湯の柱・浴槽板の修繕を行い、来訪者が快適に利用できるようになった。 ・市役所の給茶機を引き続き案内所内に設置し、霧島茶のPRと観光客へのおもてなしを行うとともにスタッフの接客向上に努めた。

事務事業 番号	02293	事務 事業名	観光案内所管理運営事業	担当部	商工観光部
				担当課	商工観光施設課

6. 振り返り <SEE (check) >		
A 目的 妥当性	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついていますか？	・この事業をなぜ市が行わなければならないですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？
	結びついている	市が実施すべき事業又は実施しなければならない事業である
	間接的に結びついている	市が実施することは妥当である
	結びついていない	見直す必要がある
B 有効性	成果が向上する余地（可能性）はありませんか？	廃止・休止の影響はありませんか？
	向上する余地はかなりある	影響がある
	向上する余地はある程度ある	影響はある程度ある
	向上する余地はほとんどない	影響はほとんどない
C 効率性	・事務事業の手段（やり方）を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？	・事務事業の手段（やり方）を工夫することで、人件費（延べ業務時間）を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？
	削減できない	削減できない
	削減する余地はある程度ある	削減する余地はある程度ある
	削減できる	削減できる
D 公平性	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？	
	公平・公正である	
	見直す必要がある	

総合評価判定基準	総合評価	理由
A:継続して取り組むことが適当（やり方改善含む。） B:事業規模・内容・実施主体の見直しの検討 C:事業の統合、休・廃止の検討	A	観光案内所は本市の観光スポットである霧島神宮大鳥居横の気軽に立ち寄れる場所にあり、観光客にとって重要な情報収集の場となっている。観光客をもてなし、受け入れる体制を整備することは市の責務であり、廃止した場合、観光客に不便さを強いることになる。現在、最低限の指定管理料で運営しており、コスト削減は難しいが、本市に訪れた観光客全ての人々が利用可能であり、公平性が確保されているため、継続して取り組むことが適当である。

7. 1次評価結果 <PLAN (Action - Plan) > (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性 << 継続・やり方改善 >>			
(1) 今後の事務事業の改革改善の方向性	の事業(成果)の方向性	拡充			
		維持		レ	
		縮小			
	休廃止(統合含む)				
		皆減	縮小	維持	拡大
		コスト投入(予算)の方向性			
(2) 令和2年度の改革改善の内容(取り組むべき課題)	施設の維持管理、来訪者に対する観光案内など、令和2年度も引き続き利用者が満足できる施設となるよう指定管理者と連携しながら適切な管理運営を行う。				
(3) 令和3年度の方向性(具体的な取組)	指定管理者と密に連携し、令和3年度も引き続き利用者が満足できる施設となるよう適切な管理運営を行う。				

8. 2次評価結果(担当部長評価)		評価者	職・氏名
(1) 今後の事務事業の改革改善の方向性	の事業(成果)の方向性	拡充	
		維持	
		縮小	
	休廃止(統合含む)		
		皆減	縮小
			維持
			拡大
		コスト投入(予算)の方向性	
(2) 総評			

1. 基本情報						
事務事業番号	02294	事務事業名	国分キャンプ海水浴場管理運営事業	担当部	商工観光部	
政策名	001	にぎわい(産業の活力があふれ、交流と賑わいが生まれるまちづくり)		担当課	商工観光施設課	
施策名	004	地域特性を生かした観光の推進		グループ	施設管理グループ	
基本事業名	003	利便性の高い観光地づくりの推進		内線番号	2614	
予算科目目	会計	一般会計		事業期間	単年度のみ	
	款	07	商工費		単年度繰返(開始年度 昭和57年度 ~)	
	項	01	商工費		期間限定複数年度(~)	
目	05	施設管理費		根拠法令・条例等	霧島市国分キャンプ海水浴場の施設の管理条例	
評価区分	標準評価	評価対象	1次評価	関連計画	霧島市観光総合戦略	

2. 事務事業の概要・目的・指標<Do>

(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)
 霧島市国分下井洲崎に設置している。
 施設概要
 トイレシャワー更衣室A(中央)(昭和57年7月完成)、トイレシャワー更衣室B(西側)(平成8年2月完成)
 トイレシャワー更衣室C(東側)(平成9年3月完成)、監視棟(昭和57年7月完成)、売店管理棟(昭和57年7月完成)
 炊事棟A(昭和57年7月完成)、炊事棟B(昭和59年3月完成)、管理倉庫(平成5年5月完成)、管理事務所(平成元年4月完成)
 バンガロー(平成9年3月完成)
 指定管理者 一般財団法人 霧島市施設管理公社
 指定管理期間 平成28年4月1日~令和3年3月31日

活動指標(事務事業の活動量)	単位	平成30年度(実績)	平成31年度(見込)	令和2年度(実績)	令和2年度(見込)	令和3年度(見込)
ア 開館日数(バンガロー、テント)	日	62	62	60	62	62
イ						
ウ						

(2) 事務事業の目的

対象(誰、何を対象にしているのか)	対象指標(左記対象の大きさを表す指標)	単位	平成30年度(実績)	平成31年度(見込)	令和2年度(実績)	令和2年度(見込)	令和3年度(見込)
ア 観光客	霧島市を訪れる観光客(宿泊+日帰り)	人	7,606,885	7,797,236	7,489,312	7,875,208	7,953,960
イ							
ウ							

意図(対象をどうしたいのか)	成果指標(左記意図の達成度を表す指標)	単位	平成30年度(実績)	平成31年度(目標)	令和2年度(実績)	令和2年度(目標)	令和3年度(目標)
ア 施設を利用してもらおう。	施設利用者数	人	56,694	60,000	71,338	72,000	72,000
イ							
ウ							

(3) 総合計画との関係
基本事業の目的、取組方針(総合計画より)
 国際線を有する空港所在都市としての強みを生かし、主要な交通結節点である空港や駅からの二次アクセスの強化を図ります。誰もが安心、快適に観光できるよう、施設などのユニバーサルデザイン化や多言語表記による案内板の設置、Wi-Fi及び超高速ブロードバンド環境の整備を促進します。
 さらに、増加傾向にある外国人観光客の受入体制を強化するとともに、本市特有の自然、景観、歴史、文化を生かした観光地づくりを推進します。

3. 前年度の評価表に記載した課題
 平成31年度の改善改革の内容(取り組むべき課題)
 平成31年度も引き続き利用者が満足できるように事業を行う。また、砂浜の整備と老朽化した管理事務所及び倉庫の建築、バンガローへのクーラー設置について検討を行う。

4. 事業費の推移

事業費	単位	30年度	31年度		2年度	3年度
		決算	当初予算	決算	当初予算	計画
国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
県支出金	千円	0	0	0	0	0
地方債	千円	0	0	0	0	0
その他	千円	0	0	0	0	0
一般財源	千円	11,243	10,217	10,226	11,412	10,312
事業費	千円	11,243	10,217	10,226	11,412	10,312

5. 平成31年度の実績及び成果

(1) 平成31年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>	(2) 平成31年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>
指定管理料 10,191,690円 バンガローウッドデッキ修繕(A~D棟) 937,440円	・指定管理者による適正な管理がなされた。 ・バンガローのウッドデッキの修繕を行い、施設利用者の利便性の向上を図った。

事務事業 番号	02294	事務 事業名	国分キャンプ海水浴場管理運営事業	担当部	商工観光部
				担当課	商工観光施設課

6. 振り返り <SEE (check) >		
A 目的 妥当 性	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついていますか？	・この事業をなぜ市が行わなければならないですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？
	結びついている	市が実施すべき事業又は実施しなければならない事業である
	間接的に結びついている	市が実施することは妥当である
	結びついていない	見直す必要がある
B 有効 性	成果が向上する余地（可能性）はありませんか？	廃止・休止の影響はありませんか？
	向上する余地はかなりある	影響がある
	向上する余地はある程度ある	影響はある程度ある
	向上する余地はほとんどない	影響はほとんどない
C 効率 性	・事務事業の手段（やり方）を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？	・事務事業の手段（やり方）を工夫することで、人件費（延べ業務時間）を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？
	削減できない	削減できない
	削減する余地はある程度ある	削減する余地はある程度ある
	削減できる	削減できる
D 公平 性	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？	
	公平・公正である	
	見直す必要がある	

総合評価判定基準	総合評価	理由
A:継続して取り組むことが適当（やり方改善含む。） B:事業規模・内容・実施主体の見直しの検討 C:事業の統合、休・廃止の検討	A	国分キャンプ海水浴場は県から借り受けた敷地に管理棟やバンガロー等を設置し、指定管理者による管理運営を行っている。指定管理者の自主事業等により、利用者が増加する可能性があり、利用料金収入が向上すれば、指定管理料は削減できる。廃止した場合、警備員等を配置できなくなり、海水浴場として、安全管理上の問題が出てくる。誰でも利用可能な施設であり、バンガロー等は利用料金を徴収し、公平性が確保されているため、継続して取り組むことが適当である。

7. 1次評価結果 <PLAN (Action - Plan) > (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性 << 継続・やり方改善 >>			
(1) 今後の事務事業の改革改善の方向性	の事業(成果)の方向性	拡充			
		維持		レ	
(2) 令和2年度の改革改善の内容(取り組むべき課題)	の事業(成果)の方向性	縮小			
		休廃止(統合含む)			
(3) 令和3年度の方向性(具体的な取組)	の事業(成果)の方向性	皆減	縮小	維持	拡大
		コスト投入(予算)の方向性			
		令和2年度も引き続き利用者が満足できる施設となるよう適切な管理運営を行い、バンガローの空調や堤防登り口階段に手摺りを設置し、利用者の利便性の向上を図る。 老朽化が著しい管理棟及び倉庫の解体・設置に向けて業務を進める。 令和3年度以降も引き続き指定管理者による管理運営を行うための公募事務を進める。			
		指定管理者と密に連携し、令和3年度も引き続き利用者が安心して利用できる施設となるよう適切な管理運営を行う。			

8. 2次評価結果(担当部長評価)		評価者	職・氏名
(1) 今後の事務事業の改革改善の方向性	の事業(成果)の方向性	拡充	
		維持	
(2) 総評	の事業(成果)の方向性	縮小	
		休廃止(統合含む)	
		皆減	縮小 維持 拡大
		コスト投入(予算)の方向性	

1. 基本情報						
事務事業番号	02295	事務事業名	国分ハイテク展望台管理運営事業	担当部	商工観光部	
政策名	001	にぎわい(産業の活力があふれ、交流と賑わいが生まれるまちづくり)		担当課	商工観光施設課	
施策名	004	地域特性を生かした観光の推進		グループ	施設管理グループ	
基本事業名	003	利便性の高い観光地づくりの推進		内線番号	2614	
予算科目目	会計	一般会計		事業期間	単年度のみ	
	款	07	商工費		単年度繰返(開始年度 平成 3年度 ~)	
	項	01	商工費		期間限定複数年度(~)	
	目	05	施設管理費		根拠法令・条例等 霧島市国分ハイテク展望台の設置及び管理に関する条例	
評価区分	標準評価	評価対象	1次評価	関連計画	霧島市観光総合戦略	

2. 事務事業の概要・目的・指標<Do>

(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)
 霧島市国分ハイテク展望台(霧島市国分上野原テクノパーク2番1号)は個性的で魅力あるまちづくりを推進するための施設です。
 平成4年2月開館 鉄筋コンクリート3階建 敷地面積/15,564㎡
 延床面積/1階・・・355.84㎡(事務室、売店、食堂、トイレ等)、2階・・・219.06㎡(展示室、会議室、トイレ等)、3階・・・290.58㎡(展望室)、屋外施設(イベント広場、噴水、駐車場、トイレ等)
 開館時間 4月1日~9月30日:午前9時30分から午後6時
 10月1日~3月31日:午前9時30分から午後5時
 休館日 月曜日(その日が休日の場合はその翌日)
 指定管理者 大成ビルサービス株式会社
 指定管理期間 平成27年4月1日~令和2年3月31日

活動指標(事務事業の活動量)	単位	平成30年度(実績)	平成31年度(見込)	令和2年度(見込)	令和3年度(見込)
ア 開館日数	日	313	312	312	313
イ 指定管理者による自主事業実施数	件	5	5	3	0
ウ					

(2) 事務事業の目的

対象(誰、何を対象にしているのか)	対象指標(左記対象の大きさを表す指標)	単位	平成30年度(実績)	平成31年度(見込)	令和2年度(見込)	令和3年度(見込)
ア 観光客	霧島市を訪れる観光客(宿泊+日帰り)	人	7,606,885	7,797,236	7,489,312	7,875,208
イ						
ウ						
意図(対象をどうしたいのか)	成果指標(左記意図の達成度を表す指標)	単位	平成30年度(実績)	平成31年度(目標)	令和2年度(目標)	令和3年度(目標)
ア 施設を利用してもらう。	施設利用者数	人	11,336	11,600	12,685	11,600
イ						
ウ						

(3) 総合計画との関係

基本事業の目的、取組方針(総合計画より)
 国際線を有する空港所在都市としての強みを生かし、主要な交通結節点である空港や駅からの二次アクセスの強化を図ります。誰もが安心、快適に観光できるよう、施設などのユニバーサルデザイン化や多言語表記による案内板の設置、Wi-Fi及び超高速ブロードバンド環境の整備を促進します。
 さらに、増加傾向にある外国人観光客の受入体制を強化するとともに、本市特有の自然、景観、歴史、文化を生かした観光地づくりを推進します。

3. 前年度の評価表に記載した課題

平成31年度の改善改革の内容(取り組むべき課題)
 指定管理者には、更なる利用者増加の方策と維持管理体制を図るよう連携していく。また、景観確保のための整備を進める。

4. 事業費の推移		単位	30年度決算	31年度当初予算	31年度決算	2年度当初予算	3年度計画
事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
	県支出金	千円	0	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0	0
	その他	千円	30	24	64	801	24
	一般財源	千円	11,384	7,399	7,358	8,050	8,827
事業費		千円	11,414	7,423	7,422	8,851	8,851

5. 平成31年度の実績及び成果

(1) 平成31年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>	(2) 平成31年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>
指定管理料 7,407,630円 浄化槽空気配管修繕 424,116円	<ul style="list-style-type: none"> 指定管理者による適正な維持管理がなされた。 指定管理者が管理している施設をめぐるスタンプラリーの開催や幼児の描いた絵画の展示などの自主事業を開催し、施設の利用者増を図ることができた。 平成30年度に購入した南側の土地の樹木伐採を行い、展望台からの眺望を確保することができた。(林務水産課)

事務事業 番号	02295	事務 事業名	国分ハイテク展望台管理運営事業	担当部	商工観光部
				担当課	商工観光施設課

6. 振り返り <SEE (check) >		
A 目的 妥当 性	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついていますか？	・この事業をなぜ市が行わなければならないですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？
	結びついている	市が実施すべき事業又は実施しなければならない事業である
	間接的に結びついている	市が実施することは妥当である
	結びついていない	見直す必要がある
B 有効 性	成果が向上する余地（可能性）はありませんか？	廃止・休止の影響はありませんか？
	向上する余地はかなりある	影響がある
	向上する余地はある程度ある	影響はある程度ある
	向上する余地はほとんどない	影響はほとんどない
C 効率 性	・事務事業の手段（やり方）を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？	・事務事業の手段（やり方）を工夫することで、人件費（延べ業務時間）を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？
	削減できない	削減できない
	削減する余地はある程度ある	削減する余地はある程度ある
	削減できる	削減できる
D 公 平 性	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？	
	公平・公正である	
	見直す必要がある	
総合評価判定基準		理由
A:継続して取り組むことが適当（やり方改善含む。） B:事業規模・内容・実施主体の見直しの検討 C:事業の統合、休・廃止の検討		A 国分ハイテク展望台は本市の施設であり、平成31年度まで指定管理者による管理運営を行ってきた。廃止すると施設の利用はできなくなる。事業費は管理運営に要する最低限の費用であり削減できない。誰でも利用可能な施設であり、会議室等は使用料を徴収し、公平性が確保されているため、継続して取り組むことが適当である。

7. 1次評価結果 <PLAN (Action - Plan) > (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性 << 継続・やり方改善 >>			
(1) 今後の事務事業の改革改善の方向性	の事業 方向性 (成果)	拡 充			
		維 持		レ	
		縮 小			
	休廃止（統合含む）				
		皆 減	縮 小	維 持	拡 大
		コスト投入（予算）の方向性			
(2) 令和 2年度の改革改善の内容 (取り組むべき課題)	令和元年度までは指定管理者による管理運営を行ってきたが、令和2年度は直営とし、委託業者等と連携しながら適切な維持管理を行う。 こども館開設に向けての改修工事も進むため、関係課と連携し、必要な調整を行う。				
(3) 令和 3年度の方向性 (具体的な取組)	こども館への転用に伴い、子育て支援課に所管換えを行う。				

8. 2次評価結果 (担当部長評価)		評価者				職・氏名	
(1) 今後の事務事業の改革改善の方向性	の事業 方向性 (成果)	拡 充					
		維 持					
		縮 小					
	休廃止（統合含む）						
		皆 減	縮 小	維 持	拡 大		
		コスト投入（予算）の方向性					
(2) 総評							

1. 基本情報						
事務事業番号	02296	事務事業名	台明寺溪谷公園管理運営事業	担当部	商工観光部	
政策名	001	にぎわい(産業の活力があふれ、交流と賑わいが生まれるまちづくり)		担当課	商工観光施設課	
施策名	004	地域特性を生かした観光の推進		担当課長	秋窪 達郎	
基本事業名	003	利便性の高い観光地づくりの推進		グループ	施設管理グループ	
予算科目目	会計 一般会計 款 07 商工費 項 01 商工費 目 05 施設管理費	事業期間	単年度のみ 単年度繰返(開始年度 平成 4年度 ~) 期間限定複数年度(~)			
評価区分	標準評価	評価対象	1次評価	根拠法令・条例等	霧島市台明寺溪谷公園の設置及び管理に関する条例	
				関連計画	霧島市観光総合戦略	

2. 事務事業の概要・目的・指標<Do>

(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)
 霧島市台明寺溪谷公園(霧島市国分台明寺1253)は、住民のレクリエーションと健康増進を図るための施設である。
 平成4年4月開園
 施設 駐車場、東屋、遊具施設、橋、トイレ等
 指定管理者 大成ビルサービス株式会社
 指定管理期間 平成27年4月1日~令和2年3月31日

公園整備当初(平成4年度)より、園内の壁泉に日陰溝水利組合が管理する水路の一部を借用し、その管理を当組合に委託していた。しかし、当組合員の高齢化や後継者不足により水田工作者がいなくなり、水路管理が困難になったため、平成31年度以降は、委託せず直接管理を行った。また、将来、組合員の子孫が耕作をする可能性もあるため、その際には、水路利用の再開と、管理委託についての協議の必要がある。

活動指標(事務事業の活動量)	単位	平成30年度(実績)	平成31年度(見込)	令和2年度(実績)	令和2年度(見込)	令和3年度(見込)
ア 開園日数	日	365	366	366	365	365
イ						
ウ						

(2) 事務事業の目的

対象(誰、何を対象にしているのか)	対象指標(左記対象の大きさを表す指標)	単位	平成30年度(実績)	平成31年度(見込)	令和2年度(実績)	令和2年度(見込)	令和3年度(見込)
ア 観光客	霧島市を訪れる観光客(宿泊+日帰り)	人	7,606,885	7,797,236	7,489,312	7,875,208	7,953,960
イ							
ウ							

意図(対象をどうしたいのか)	成果指標(左記意図の達成度を表す指標)	単位	平成30年度(実績)	平成31年度(目標)	令和2年度(実績)	令和2年度(目標)	令和3年度(目標)
ア 施設を利用してもらう。	開園日数	日	365	366	366	365	365
イ							
ウ							

(3) 総合計画との関係

基本事業の目的、取組方針(総合計画より)
 国際線を有する空港所在都市としての強みを生かし、主要な交通結節点である空港や駅からの二次アクセスの強化を図ります。誰もが安心、快適に観光できるよう、施設などのユニバーサルデザイン化や多言語表記による案内板の設置、Wi-Fi及び超高速ブロードバンド環境の整備を促進します。
 さらに、増加傾向にある外国人観光客の受入体制を強化するとともに、本市特有の自然、景観、歴史、文化を生かした観光地づくりを推進します。

3. 前年度の評価表に記載した課題		4. 事業費の推移						
平成31年度の改善改革の内容(取り組むべき課題) 指定管理者と連携を図りながら必要な維持管理業務を迅速に対応し、利用者が安全に施設を利用できるようにしていく。		単位	30年度決算	31年度当初予算	31年度決算	2年度当初予算	3年度計画	
投入量	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	
		県支出金	千円	0	0	0	0	
		地方債	千円	0	0	0	0	
		その他	千円	0	0	0	0	
		一般財源	千円	294	294	234	1,229	
	事業費	千円	294	294	234	1,229		

5. 平成31年度の実績及び成果

(1) 平成31年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>	(2) 平成31年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>
指定管理料 230,000円 井戸ポンプ修繕 324,000円 遊歩道修繕工事 495,000円	・指定管理者による適正な維持管理がなされ、多くの利用客が訪れた。 ・6月末の大雨により被災した遊歩道の修繕工事を行い、安全に利用できるようになった。

事務事業 番号	02296	事務 事業名	台明寺溪谷公園管理運営事業	担当部	商工観光部
				担当課	商工観光施設課

6. 振り返り <SEE (check) >		
A 目的 妥当性	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついていますか？	・この事業をなぜ市が行わなければならないですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？
	結びついている	市が実施すべき事業又は実施しなければならない事業である
	間接的に結びついている	市が実施することは妥当である
	結びついていない	見直す必要がある
B 有効性	成果が向上する余地（可能性）はありませんか？	廃止・休止の影響はありませんか？
	向上する余地はかなりある	影響がある
	向上する余地はある程度ある	影響はある程度ある
	向上する余地はほとんどない	影響はほとんどない
C 効率性	・事務事業の手段（やり方）を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？	・事務事業の手段（やり方）を工夫することで、人件費（延べ業務時間）を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？
	削減できない	削減できない
	削減する余地はある程度ある	削減する余地はある程度ある
	削減できる	削減できる
D 公平性	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？	
	公平・公正である	
	見直す必要がある	
総合評価判定基準		理由
A:継続して取り組むことが適当（やり方改善含む。） B:事業規模・内容・実施主体の見直しの検討 C:事業の統合、休・廃止の検討		A 台明寺溪谷公園は本市の施設であり、平成31年度までは指定管理者による管理運営を行ってきた。廃止すると施設の利用はできなくなる。事業費は管理運営に要する最低限の費用であり削減できない。誰でも利用可能な施設であり、公平性が確保されているため、継続して取り組むことが適当である。

7. 1次評価結果 <PLAN (Action - Plan) > (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性 << 継続・やり方改善 >>			
(1) 今後の事務事業の改革改善の方向性	の事業(成果)の方向性	拡充			
		維持		レ	
		縮小			
	休廃止(統合含む)				
		皆減	縮小	維持	拡大
		コスト投入(予算)の方向性			
(2) 令和2年度の改革改善の内容(取り組むべき課題)	令和元年度までは指定管理者による管理運営を行ってきたが、令和2年度は直営とし、委託先と連携しながら利用者が安全に施設を利用できるように適切な維持管理を行う。 令和3年度から改めて指定管理者による管理運営を行うために国分キャンプ海水浴場等と一体的な公募事務を進める。				
(3) 令和3年度の方向性(具体的な取組)	指定管理者と連携を図りながら、利用者が安全に施設を利用できるよう適切な維持管理を行う。				

8. 2次評価結果(担当部長評価)		評価者				職・氏名	
(1) 今後の事務事業の改革改善の方向性	の事業(成果)の方向性	拡充					
		維持					
		縮小					
	休廃止(統合含む)						
		皆減	縮小	維持	拡大		
		コスト投入(予算)の方向性					
(2) 総評							

1. 基本情報						
事務事業番号	02297	事務事業名	霧島高原国民休養地管理運営事業		担当部	商工観光部
政策名	001	にぎわい(産業の活力があふれ、交流と賑わいが生まれるまちづくり)			担当課長	秋窪 達郎
施策名	004	地域特性を生かした観光の推進			グループ	施設管理グループ
基本事業名	003	利便性の高い観光地づくりの推進			内線番号	2615
予算科目目	会計	一般会計		事業期間	単年度のみ	
	款	07	商工費		単年度繰返(開始年度 昭和48年度 ~)	
	項	01	商工費		期間限定複数年度(~)	
目	05	施設管理費		根拠法令・条例等	霧島高原国民休養地設置及び管理に関する条例	
評価区分	標準評価	評価対象	1次評価		関連計画	霧島市観光総合戦略

2. 事務事業の概要・目的・指標<Do>								
(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)								
国民休養地(牧園町)は、昭和48年に開館し、各種の野外レクリエーション施設で、敷地面積は26ヘクタールで管理休憩棟1棟、入浴施設1棟、セントラルロッジ1棟、コテージ9棟、ケビン5棟、炊事棟3棟、テニスコート、キャンプ施設などがある。								
営業時間 午前9時~午後8時 指定管理者 福地産業株式会社 指定管理期間 平成27年4月1日~令和2年3月31日								
活動指標 (事務事業の活動量)		単位	平成30年度 (実績)	平成31年度 (見込)	令和2年度 (見込)	令和3年度 (見込)		
ア	指定施設数	施設	1	1	1	1		
イ	指定管理者による自主事業実施数	件	4	5	13	13		
ウ								
(2) 事務事業の目的								
対象 (誰、何を対象にしているのか)	対象指標 (左記 対象の大きさを表す指標)	単位	平成30年度 (実績)	平成31年度 (見込)	令和2年度 (見込)	令和3年度 (見込)		
ア	観光客	霧島市を訪れる観光客(宿泊+日帰り)	人	7,606,885	7,797,236	7,489,312	7,875,208	7,953,960
イ								
ウ								
意図 (対象をどうしたいのか)	成果指標 (左記 意図の達成度を表す指標)	単位	平成30年度 (実績)	平成31年度 (目標)	令和2年度 (目標)	令和3年度 (目標)		
ア	多くの方に施設に来てもらう	施設利用者数	人	39,876	45,000	20,231	22,000	46,000
イ								
ウ								
(3) 総合計画との関係								
基本事業の目的、取組方針(総合計画より)								
国際線有する空港所在都市としての強みを生かし、主要な交通結節点である空港や駅からの二次アクセスの強化を図ります。誰もが安心、快適に観光できるよう、施設などのユニバーサルデザイン化や多言語表記による案内板の設置、Wi-Fi及び超高速ブロードバンド環境の整備を促進します。 さらに、増加傾向にある外国人観光客の受入体制を強化するとともに、本市特有の自然、景観、歴史、文化を生かした観光地づくりを推進します。								

3. 前年度の評価表に記載した課題		4. 事業費の推移					
平成31年度の改善改革の内容(取り組むべき課題)		単位	30年度 決算	31年度 当初予算	2年度 当初予算	3年度 計画	
本施設の指定管理については、概ね利用者から好意的な意見が多く適切に管理されている。一方、施設の老朽化から毎年修繕を行っている状況であり、指定管理者と連携を図りながら必要な維持管理業務を迅速に対応し、利用者の方が不便のないようにしていく。また、温泉棟の休館に伴い利用者の減少が見込まれるが、指定管理者との連携を密にし、周辺の温泉施設等と連携するなど、減少を最小限に抑えられるよう努める。		財源内訳	国庫支出金 千円	0	0	0	0
		県支出金 千円	0	0	16,753	0	0
		地方債 千円	0	0	0	0	0
		その他 千円	0	0	41	0	0
		一般財源 千円	2,375	796	25,093	8,374	1,094
		事業費 千円	2,375	796	41,887	8,374	1,094

5. 平成31年度の実績及び成果	
(1) 平成31年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>	(2) 平成31年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>
指定管理料 7,845,000円 便所新築工事設計業務委託 1,870,000円 便所建設建築工事 24,992,000円 便所建設給排水衛生設備工事 6,644,792円 仮設トイレ上 422,876円、トイレ浄化槽修繕 34,560円 ダンプモーター取替修繕 104,731円、管理棟屋根修繕 86,900円 コテージ修繕 Ⅱ'Ⅱ1号棟玄関修繕 272,160円、Ⅱ'Ⅱ3号棟玄関修繕 774,360円 シュベ'Ⅱ1号棟デ'Ⅱ修繕 528,120円 シュベ'Ⅱ2号棟電気コ'Ⅱ入替修繕 28,820円 ハート'Ⅱ1~3号棟'Ⅱ'Ⅱ'Ⅱ修繕 178,200円 'Ⅱ'Ⅱ4号棟屋根修繕 547,481円、'Ⅱ'Ⅱ6号棟屋根修繕 547,481円 シュベ'Ⅱ1号棟屋根修繕 44,000円、シュベ'Ⅱ3号棟屋根修繕 71,412円	・指定管理者による適正な管理運営がなされた。 ・キャンプ広場内にトイレを新設したほか、コテージの計画的な修繕を行い、利用者の利便性の向上を図った。 ・令和2年1月末の強風により被災した管理棟やコテージの修繕を行い、利用者の安全を確保した。

事務事業 番号	02297	事務 事業名	霧島高原国民休養地管理運営事業	担当部	商工観光部
				担当課	商工観光施設課

6. 振返り <SEE (check) >

A 目的 妥当性	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついていますか？	・この事業をなぜ市が行わなければならないですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？
	結びついている	市が実施すべき事業又は実施しなければならない事業である
	間接的に結びついている	市が実施することは妥当である
	結びついていない	見直す必要がある
B 有効性	成果が向上する余地（可能性）はありますか？	廃止・休止の影響はありませんか？
	向上する余地はかなりある	影響がある
	向上する余地はある程度ある	影響はある程度ある
	向上する余地はほとんどない	影響はほとんどない
C 効率性	・事務事業の手段（やり方）を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？	・事務事業の手段（やり方）を工夫することで、人件費（延べ業務時間）を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？
	削減できない	削減できない
	削減する余地はある程度ある	削減する余地はある程度ある
	削減できる	削減できる
D 公平性	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？	
	公平・公正である	
	見直す必要がある	

総合評価判定基準	総合評価	理由
A: 継続して取り組むことが適当（やり方改善含む。） B: 事業規模・内容・実施主体の見直しの検討 C: 事業の統合、休・廃止の検討	A	霧島高原国民休養地は本市の施設であり、指定管理者による管理運営を行っている。宿泊施設の利用率が低い時期に誘客できれば指定管理者の更なる収入となる。本施設は年間を通じて多くの方に親しまれており、廃止すると大きな影響が予想される。事業費の削減は運営に支障をきたすことが考えられる。安全面などのルールを守ること以外の利用制限はなく、誰でも利用可能な施設であり、公平性が確保されているため、継続して取り組むことが適当である。

7. 1次評価結果 <PLAN (Action - Plan) > (組織決定)

		【参考】前年度の改革改善の方向性 継続・やり方改善 << >>				
(1) 今後の事務事業の改革改善の方向性	の 事 業 向 性 (成 果)	拡 充				
		維 持			レ	
		縮 小				
		休廃止（統合含む）				
			皆 減	縮 小	維 持	拡 大
		コスト投入（予算）の方向性				
(2) 令和 2年度の改革改善の内容（取り組むべき課題）	施設の老朽化や大雨、強風等により被災することも多く、年々修繕が増えているが、樹木の管理も含めて、引き続き利用者が満足できる施設となるよう指定管理者と連携しながら適切な管理運営を行う。 現在、休館している入浴施設の改修については、建築住宅課と連携しながら、年度内の供用開始を目指し、利用者の利便性の向上を図る。					
(3) 令和 3年度の方向性（具体的な取組）	令和 4年度の全国和牛能力共進会鹿児島大会において、同地については催事会場としての利用計画があることも踏まえ、関係課及び指定管理者等と密に連携し、令和 3年度も引き続き利用者が安心して利用できる施設となるよう適切な管理運営を行う。					

8. 2次評価結果（担当部長評価）

						評価者	職・氏名	
(1) 今後の事務事業の改革改善の方向性	の 事 業 向 性 (成 果)	拡 充						
		維 持						
		縮 小						
		休廃止（統合含む）						
			皆 減	縮 小	維 持	拡 大		
		コスト投入（予算）の方向性						
(2) 総評								

1. 基本情報						
事務事業番号	02298	事務事業名	乗馬施設管理運営事業	担当部	商工観光部	
政策名	001	にぎわい(産業の活力があふれ、交流と賑わいが生まれるまちづくり)		担当課	商工観光施設課	
施策名	004	地域特性を生かした観光の推進		担当課長	秋窪 達郎	
基本事業名	003	利便性の高い観光地づくりの推進		グループ	施設管理グループ	
予算科目	会計 一般会計	事業期間	単年度のみ 単年度繰返(開始年度 昭和47年度 ~) 期間限定複数年度(~)			
目録	07 商工費 01 商工費 05 施設管理費	根拠法令・条例等	霧島高原国民休養地設置及び管理に関する条例			
評価区分	標準評価	評価対象	1次評価	関連計画	特になし	

2. 事務事業の概要・目的・指標<Do>						
(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)						
乗馬施設(牧園町)は、昭和47年に開設し、野外レクリエーション施設で、敷地面積は15,835㎡で、本馬場、覆馬場、補助馬場、放牧場、クラブハウスの施設がある。 営業時間 午前9時~午後5時 休館日 月曜日(祝日の場合は翌日) 指定管理者 霧島愛馬会 指定管理期間 平成27年4月1日~令和2年3月31日						
活動指標 (事務事業の活動量)		単位	平成30年度 (実績)	平成31年度 (見込)	令和2年度 (見込)	令和3年度 (見込)
ア	指定施設数	施設	1	1	1	1
イ	指定管理者による自主事業実施数	件	17	19	18	18
ウ						
(2) 事務事業の目的						
対象 (誰、何を対象にしているのか)		対象指標 (左記 対象の 大きさを表す指標)	単位	平成30年度 (実績)	平成31年度 (見込)	令和2年度 (見込)
ア	観光客	霧島市を訪れる観光客(宿泊+日帰り)	人	7,606,885	7,797,236	7,489,312
イ						
ウ						
意図 (対象をどうしたいのか)		成果指標 (左記 意図の 達成度を表す指標)	単位	平成30年度 (実績)	平成31年度 (目標)	令和2年度 (目標)
ア	多くの方に施設に来てもらう	施設利用者数	人	3,905	4,000	3,720
イ						
ウ						
(3) 総合計画との関係						
基本事業の目的、取組方針(総合計画より)						
国際線を有する空港所在都市としての強みを生かし、主要な交通結節点である空港や駅からの二次アクセスの強化を図ります。誰もが安心、快適に観光できるように、施設などのユニバーサルデザイン化や多言語表記による案内板の設置、Wi-Fi及び超高速ブロードバンド環境の整備を促進します。 さらに、増加傾向にある外国人観光客の受入体制を強化するとともに、本市特有の自然、景観、歴史、文化を生かした観光地づくりを推進します。						

3. 前年度の評価表に記載した課題		4. 事業費の推移					
平成31年度の改善改革の内容(取り組むべき課題) 引き続き指定管理者と連携し、施設の維持管理や利用者増加の取り組みなど指定管理委託の中(行)っていき、確認をしながら伐採等の処理を行うなど、利用者へのサービス向上と施設内の安全対策を図ること、自主事業の充実を図りながら利用者確保を目指す。		単位	30年度 決算	31年度 当初予算	2年度 当初予算	3年度 計画	
投入量	事業費	千円	0	0	0	0	
	財源内訳	千円	0	0	0	0	
	国庫支出金	千円	0	0	0	0	
	県支出金	千円	0	0	0	0	
	地方債	千円	0	0	0	0	
	その他	千円	0	0	0	0	
	一般財源	千円	5,010	5,058	5,160	3,704	
	事業費	千円	5,010	5,058	5,160	3,704	

5. 平成31年度の実績及び成果	
(1) 平成31年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>	(2) 平成31年度の実績 <左記の実績(取組)による成果を記載>
指定管理料 5,073,400円 厩舎等防水塗装修繕 629,640円 男子トイレ修繕 429,000円 覆馬場屋根修繕 205,700円 厩舎照明器具修繕 27,500円 外灯修繕 47,300円	・指定管理者による適正な管理運営がなされた。 ・施設の老朽化による雨漏り被害に対応するため、厩舎の防水塗装修繕を行い、施設の機能を確保した。 ・クラブハウスの男子トイレの洋式化を行い、インバウンド対策及び施設利用者の利便性の向上を図った。 ・令和2年1月末の強風により被災した馬場の屋根や厩舎照明器具等の修繕を行い、施設の機能を確保した。

事務事業 番号	02298	事務 事業名	乗馬施設管理運営事業	担当部	商工観光部
				担当課	商工観光施設課

6. 振り返り <SEE (check) >		
A 目的 妥当 性	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついていますか？	・この事業をなぜ市が行わなければならないですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？
	結びついている	市が実施すべき事業又は実施しなければならない事業である
	間接的に結びついている	市が実施することは妥当である
	結びついていない	見直す必要がある
B 有効 性	成果が向上する余地（可能性）はありますか？	廃止・休止の影響はありますか？
	向上する余地はかなりある	影響がある
	向上する余地はある程度ある	影響はある程度ある
	向上する余地はほとんどない	影響はほとんどない
C 効率 性	・事務事業の手段（やり方）を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？	・事務事業の手段（やり方）を工夫することで、人件費（延べ業務時間）を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？
	削減できない	削減できない
	削減する余地はある程度ある	削減する余地はある程度ある
	削減できる	削減できる
D 公平 性	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？	
	公平・公正である	
	見直す必要がある	

総合評価判定基準	総合評価	理由
A: 継続して取り組むことが適当（やり方改善含む。） B: 事業規模・内容・実施主体の見直しの検討 C: 事業の統合、休・廃止の検討	A	乗馬施設は本市の施設であり、指定管理者による管理運営を行っている。専門誌や従来とは異なる年齢層に乗馬の魅力を発信するなど、新たな誘客についての向上余地はある。本市で唯一の乗馬施設であり、廃止すると利用者への影響は大きい。事業費の削減は運営に支障をきたすことが考えられる。一部の人を対象とした事業ではなく、安全面（身長120cm以上等）を満たせば、利用制限はなく、公平性が確保されているため、継続して取り組むことが適当である。

7. 1次評価結果 <PLAN (Action - Plan) > (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性 << 継続・やり方改善 >>			
(1) 今後の事務事業の改革改善の方向性	の事業(成果)の方向性	拡充			
		維持		レ	
		縮小			
	休廃止(統合含む)				
		皆減	縮小	維持	拡大
コスト投入(予算)の方向性					
(2) 令和2年度の改革改善の内容(取り組むべき課題)	施設の老朽化や大雨、強風等により被災することも多く、年々修繕が増えているが、樹木の管理も含めて、引き続き利用者が満足できる施設となるよう指定管理者と連携しながら適切な管理運営を行うとともに自主事業の充実を図りながら利用者数の確保を目指す。				
(3) 令和3年度の方向性(具体的な取組)	指定管理者と密に連携し、令和3年度も引き続き利用者が安心して利用できる施設となるよう適切な管理運営を行う。				

8. 2次評価結果(担当部長評価)		評価者	職・氏名
(1) 今後の事務事業の改革改善の方向性	の事業(成果)の方向性	拡充	
		維持	
		縮小	
	休廃止(統合含む)		
		皆減	縮小 維持 拡大
コスト投入(予算)の方向性			
(2) 総評			

1. 基本情報						
事務事業番号	02299	事務事業名	小浜海水浴場管理運営事業	担当部	商工観光部	
政策名	001	にぎわい(産業の活力があふれ、交流と賑わいが生まれるまちづくり)		担当課	商工観光施設課	
施策名	004	地域特性を生かした観光の推進		グループ	施設管理グループ	
基本事業名	003	利便性の高い観光地づくりの推進		内線番号	2614	
予算科目目	会計	一般会計		事業期間	単年度のみ	
	款	07	商工費		単年度繰返(開始年度 ~)	
	項	01	商工費		期間限定複数年度(~)	
目	05	施設管理費		根拠法令・条例等	霧島市小浜海水浴場休憩所の設置及び管理に関する条例	
評価区分	標準評価	評価対象	1次評価	関連計画	霧島市観光総合戦略	

2. 事務事業の概要・目的・指標<Do>

(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)
 小浜海水浴場は錦江湾の湾奥部に位置し、桜島を望みながら、泳ぐことができる、遠浅で水質の良い海岸です。更衣室、シャワー室、休憩室などが完備されており、市内外からの海水浴客を受け入れています。
 管理については平成25年度までは地元の小浜地区自治公民館に委託しておりましたが、平成26年度からは警備を含めた管理運営を警備会社に委託しています。
 開所期間 海の日~8月31日
 使用時間 午前9時~午後5時

活動指標(事務事業の活動量)	単位	平成30年度(実績)	平成31年度(見込)	令和2年度(見込)	令和3年度(見込)
ア 開館日数	日	47	48	46	45
イ					
ウ					

(2) 事務事業の目的

対象(誰、何を対象にしているのか)	対象指標(左記対象の大きさを表す指標)	単位	平成30年度(実績)	平成31年度(見込)	令和2年度(見込)	令和3年度(見込)
ア 観光客	霧島市を訪れる観光客(宿泊+日帰り)	人	7,606,885	7,797,236	7,489,312	7,875,208
イ						
ウ						
意図(対象をどうしたいのか)	成果指標(左記意図の達成度を表す指標)	単位	平成30年度(実績)	平成31年度(目標)	令和2年度(目標)	令和3年度(目標)
ア 施設を利用してもらう。	施設利用者数	人	6,161	6,500	5,321	6,000
イ						
ウ						

(3) 総合計画との関係

基本事業の目的、取組方針(総合計画より)
 国際線を有する空港所在都市としての強みを生かし、主要な交通結節点である空港や駅からの二次アクセスの強化を図ります。誰もが安心、快適に観光できるよう、施設などのユニバーサルデザイン化や多言語表記による案内板の設置、Wi-Fi及び超高速ブロードバンド環境の整備を促進します。
 さらに、増加傾向にある外国人観光客の受入体制を強化するとともに、本市特有の自然、景観、歴史、文化を生かした観光地づくりを推進します。

3. 前年度の評価表に記載した課題

平成31年度の改善改革の内容(取り組むべき課題)
 引き続き利用者が満足できるように事業を行う。また、国分キャンプ海水浴場の指定管理期間が2020年度までなので、今後は同一の指定管理者が小浜海水浴場まで管理できないか検討する。

4. 事業費の推移

事業費	単位	30年度決算	31年度		2年度当初予算	3年度計画
			当初予算	決算		
国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
県支出金	千円	0	0	0	0	0
地方債	千円	0	0	0	0	0
その他	千円	0	0	10	0	0
一般財源	千円	2,769	2,931	2,877	3,080	3,080
事業費	千円	2,769	2,931	2,887	3,080	3,080

5. 平成31年度の実績及び成果

(1) 平成31年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>	(2) 平成31年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>
管理・水難救助業務委託 2,126,520円 電話使用料 10,750円 浄化槽法定検査手数料 8,000円 浄化槽維持管理業務委託 190,007円 トイレ清掃業務 59,000円 除石等業務委託 367,200円 浄化槽ブロワーモーター交換修繕 61,020円 排水枘設置及び詰り修繕 136,400円	・海水浴場の管理、水難救助業務を警備会社に委託し、国分キャンプ海水浴場と連携をとりながら、利用者の監視や安全面への配慮を行うなど適切な管理運営が行われた。 ・砂浜の除石作業や定期的にトイレ清掃等を行い、利用者の利便性の向上を図った。

事務事業 番号	02299	事務 事業名	小浜海水浴場管理運営事業	担当部	商工観光部
				担当課	商工観光施設課

6. 振返り <SEE (check) >		
A 目的 妥当 性	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついていますか？	・この事業をなぜ市が行わなければならないですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？
	結びついている	市が実施すべき事業又は実施しなければならない事業である
	間接的に結びついている	市が実施することは妥当である
	結びついていない	見直す必要がある
B 有効 性	成果が向上する余地（可能性）はありませんか？	廃止・休止の影響はありませんか？
	向上する余地はかなりある	影響がある
	向上する余地はある程度ある	影響はある程度ある
	向上する余地はほとんどない	影響はほとんどない
C 効率 性	・事務事業の手段（やり方）を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？	・事務事業の手段（やり方）を工夫することで、人件費（延べ業務時間）を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？
	削減できない	削減できない
	削減する余地はある程度ある	削減する余地はある程度ある
	削減できる	削減できる
D 公平 性	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？	
	公平・公正である	
	見直す必要がある	

総合評価判定基準	総合評価	理由
A:継続して取り組むことが適当（やり方改善含む。） B:事業規模・内容・実施主体の見直しの検討 C:事業の統合、休・廃止の検討	A	近年、小浜海水浴場の認知度が高まっており、市外からの来訪者も多く、今後も利用者数は増加する可能性がある。廃止した場合、休憩所（脱衣室、シャワー等）が利用できなくなるほか、警備員も配置できなくなり、海水浴場として、安全管理上の問題が出てくる。事業費は、海水浴場の管理・水難救助業務や浄化槽の維持管理業務などの最低限の費用であり削減できない。誰でも利用可能な施設であり、公平性が確保されているため、継続して取り組むことが適当である。

7. 1次評価結果 <PLAN (Action - Plan) > (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性 << 継続・やり方改善 >>			
(1) 今後の事務事業の改革改善の方向性	の事業(成果)の方向性	拡充			
		維持		レ	
(2) 令和2年度の改革改善の内容(取り組むべき課題)	の事業(成果)の方向性	縮小			
		休廃止(統合含む)			
		皆減	縮小	維持	拡大
		コスト投入(予算)の方向性			
(3) 令和3年度の方向性(具体的な取組)	令和2年度も委託先の警備会社等と連携しながら利用者が安全に施設を利用できるように適切な維持管理を行う。 令和3年度から指定管理者による管理運営を行うために国分キャンプ海水浴場等と一体的な公募事務を進める。 指定管理者と連携を図りながら、利用者が安全に施設を利用できるよう適切な維持管理を行う。				

8. 2次評価結果(担当部長評価)		評価者	職・氏名
(1) 今後の事務事業の改革改善の方向性	の事業(成果)の方向性	拡充	
		維持	
(2) 総評	の事業(成果)の方向性	縮小	
		休廃止(統合含む)	
		皆減	縮小
		維持	
		拡大	
		コスト投入(予算)の方向性	

1. 基本情報						
事務事業番号	02300	事務事業名	道の駅管理運営事業	担当部	商工観光部	
政策名	001	にぎわい(産業の活力があふれ、交流と賑わいが生まれるまちづくり)		担当課	商工観光施設課	
施策名	004	地域特性を生かした観光の推進		担当課長	秋窪 達郎	
基本事業名	003	利便性の高い観光地づくりの推進		グループ	施設管理グループ	
予算科目目	会計 一般会計 款 07 商工費 項 01 商工費 目 05 施設管理費	事業期間	単年度のみ 単年度繰返(開始年度 平成 6年度 ~) 期間限定複数年度(~)			
評価区分	標準評価	評価対象	1次評価	根拠法令・条約等	「道の駅」登録・案内要綱	
				関連計画	特になし	

2. 事務事業の概要・目的・指標<Do>						
(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)						
道の駅「霧島」は、霧島市霧島田口2583-8に位置し、霧島錦江湾国立公園の霧島地区を周回している国道223号に面しており、標高500mほどの高台にある。駐車場、屋外トイレ、遊歩道を有する道の駅の維持管理運営を委託している。 委託先 霧島神話の里公園株式会社 委託業務内容 施設の維持管理及び施設周辺の清掃、九州・沖縄道の駅連絡会議・イベント等への参加、維持管理をする上で必要な会計事務						

活動指標 (事務事業の活動量)	単位	平成30年度 (実績)	平成31年度 (見込)	令和 2年度 (見込)	令和 3年度 (見込)
ア 開館日数	日	365	366	366	365
イ					
ウ					

(2) 事務事業の目的						
対象 (誰、何を対象にしているのか)	対象指標 (左記 対象の大きさを表す指標)	単位	平成30年度 (実績)	平成31年度 (見込)	令和 2年度 (見込)	令和 3年度 (見込)
ア 道の駅利用者	道の駅利用者数	人	444,172	450,000	481,011	450,000
イ						
ウ						
意図 (対象をどうしたいのか)	成果指標 (左記 意図の達成度を表す指標)	単位	平成30年度 (実績)	平成31年度 (目標)	令和 2年度 (目標)	令和 3年度 (目標)
ア 整備・清掃が整った施設を安心して利用できる。	道の駅に関する要望件数	件	0	0	0	0
イ						
ウ						

(3) 総合計画との関係						
基本事業の目的、取組方針 (総合計画より)						
国際線を有する空港所在都市としての強みを生かし、主要な交通結節点である空港や駅からの二次アクセスの強化を図ります。誰もが安心、快適に観光できるよう、施設などのユニバーサルデザイン化や多言語表記による案内板の設置、Wi-Fi及び超高速ブロードバンド環境の整備を促進します。 さらに、増加傾向にある外国人観光客の受入体制を強化するとともに、本市特有の自然、景観、歴史、文化を生かした観光地づくりを推進します。						

3. 前年度の評価表に記載した課題		4. 事業費の推移						
平成31年度の改善改革の内容(取り組むべき課題) 施設修繕など施設の維持管理、利用者に対する対応など、平成31年度も引き続き利用者が満足できるように事業を行う。		単位	30年度 決算	31年度 当初予算	31年度 決算	2年度 当初予算	3年度 計画	
投入量	事業費	千円	0	0	0	0		
	財源内訳	千円	0	0	0	0		
	国庫支出金	千円	0	0	0	0		
	県支出金	千円	0	0	0	0		
	地方債	千円	0	0	0	0		
	その他	千円	0	0	0	0		
	一般財源	千円	2,484	2,484	2,484	2,530		
	事業費	千円	2,484	2,484	2,484	2,530		

5. 平成31年度の実績及び成果	
(1) 平成31年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載> 管理運営委託料 2,484,000円	(2) 平成31年度の実績(取組)による成果を記載> 道の駅の利用者に地域の情報や快適な環境を提供できた。

事務事業 番号	02300	事務 事業名	道の駅管理運営事業	担当部	商工観光部
				担当課	商工観光施設課

6. 振返り <SEE (check) >		
A 目的 妥当 性	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついていますか？	・この事業をなぜ市が行わなければならないですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？
	結びついている	市が実施すべき事業又は実施しなければならない事業である
	間接的に結びついている	市が実施することは妥当である
B 有効 性	成果が向上する余地（可能性）はありませんか？	廃止・休止の影響はありませんか？
	向上する余地はかなりある	影響がある
	向上する余地はある程度ある	影響はある程度ある
C 効率 性	事務事業の手段（やり方）を工夫することで、事業費を削減できませんか？ 補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？	・事務事業の手段（やり方）を工夫することで、人件費（延べ業務時間）を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？
	削減できない	削減できない
	削減する余地はある程度ある	削減する余地はある程度ある
D 公平 性	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？	
	公平・公正である	
	見直す必要がある	

総合評価判定基準	総合評価	理由
A: 継続して取り組むことが適当（やり方改善含む。） B: 事業規模・内容・実施主体の見直しの検討 C: 事業の統合、休・廃止の検討	A	道の駅「霧島」では、観光客を含めた道路利用者に安全で快適な休憩施設を提供しており、霧島神話の里公園側に管理運営を委託している。定期的に点検、整備、清掃がされており、廃止した場合、休憩施設がなくなり、車での長距離移動で来られる観光客の誘客等に影響がある。トイレや道路情報の案内など、24時間誰でも利用できることが「道の駅」登録・案内要綱に基づく条件であり、公平性は確保されているため、継続して取り組むことが適当である。

7. 1次評価結果 <PLAN (Action - Plan) > (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性 << 継続・やり方改善 >>			
(1) 今後の事務事業の改革改善の方向性	の事業(成果)の方向性	拡充			
		維持		レ	
(2) 令和2年度の改革改善の内容(取り組むべき課題)	の事業(成果)の方向性	縮小			
		休廃止(統合含む)			
		皆減	縮小	維持	拡大
		コスト投入(予算)の方向性			
(3) 令和3年度の方向性(具体的な取組)	委託業者と密に連携し、令和3年度も引き続き利用者が満足できる施設となるよう適切な管理運営を行う。屋外トイレについては、洋式化を検討する。				

8. 2次評価結果(担当部長評価)		評価者	職・氏名
(1) 今後の事務事業の改革改善の方向性	の事業(成果)の方向性	拡充	
		維持	
(2) 総評	の事業(成果)の方向性	縮小	
		休廃止(統合含む)	
		皆減	縮小 維持 拡大
		コスト投入(予算)の方向性	

1. 基本情報						
事務事業番号	02301	事務事業名	塩浸温泉龍馬公園管理運営事業		担当部	商工観光部
政策名	001	にぎわい(産業の活力があふれ、交流と賑わいが生まれるまちづくり)			担当課	商工観光施設課
施策名	004	地域特性を生かした観光の推進			グループ	施設管理グループ
基本事業名	003	利便性の高い観光地づくりの推進			内線番号	2614
予算科目目	会計	一般会計		事業期間	単年度のみ	
	款	07	商工費		単年度繰返(開始年度 平成22年度 ~)	
	項	01	商工費		期間限定複数年度(~)	
	目	05	施設管理費		根拠法令・条例等 霧島市塩浸温泉龍馬公園の設置及び管理に関する条例	
評価区分	標準評価	評価対象	1次評価		関連計画	霧島市観光総合戦略

2. 事務事業の概要・目的・指標<Do>

(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)
 霧島市塩浸温泉龍馬公園は自然環境及び歴史的風土を活かした公園施設を効率的に活用することにより、観光及び産業の振興並びに地域活性化を図るための施設である。資料館「この世の外」は幕末に霧島市を訪れた坂本龍馬の歴史を紹介する施設となっている。温泉の源泉は「塩浸温泉」と「つるの湯」の2種類ある。平成26年度には鹿児島県のリバーフロント整備事業で公園と一体となった石坂川の護岸整備を行い、整備された護岸の遊歩道を散策し、龍馬が入ったといわれる石風呂や川を身近に感じることができる。
 営業時間 午前9時~午後5時 休園日 月曜日(その日が休日に当たるときは、その翌日)、12月29日~翌年1月3日
 敷地面積 4097.88㎡
 施設概要 公園、資料館、温泉棟、足湯、記念碑、トイレ、橋梁、駐車場
 指定管理者 特定非営利法人 薩摩龍馬会
 指定管理期間 平成27年4月1日~令和2年3月31日
 利用料金 入浴料(大人360円、子ども140円)、資料館入館料(大人200円、子ども100円)

活動指標 (事務事業の活動量)	単位	平成30年度 (実績)	平成31年度 (見込)	令和2年度 (実績)	令和3年度 (見込)
ア 開園数	日	316	315	304	307
イ					
ウ					

(2) 事務事業の目的

対象 (誰、何を対象にしているのか)	対象指標 (左記 対象の大きさを表す指標)	単位	平成30年度 (実績)	平成31年度 (見込)	令和2年度 (実績)	令和3年度 (見込)
ア 観光客	霧島市を訪れる観光客(宿泊+日帰り)	人	7,606,885	7,797,236	7,489,312	7,875,208
イ						
ウ						
意図 (対象をどうしたいのか)	成果指標 (左記 意図の達成度を表す指標)	単位	平成30年度 (実績)	平成31年度 (目標)	令和2年度 (実績)	令和3年度 (目標)
ア 施設を利用してもらう	施設利用者数	人	82,994	85,000	61,903	65,000
イ						
ウ						

(3) 総合計画との関係

基本事業の目的、取組方針(総合計画より)
 国際線を有する空港所在都市としての強みを生かし、主要な交通結節点である空港や駅からの二次アクセスの強化を図ります。誰もが安心、快適に観光できるよう、施設などのユニバーサルデザイン化や多言語表記による案内板の設置、Wi-Fi及び超高速ブロードバンド環境の整備を促進します。
 さらに、増加傾向にある外国人観光客の受入体制を強化するとともに、本市特有の自然、景観、歴史、文化を生かした観光地づくりを推進します。

3. 前年度の評価表に記載した課題

平成31年度の改善改革の内容(取り組むべき課題)
 年々、利用者が減少しているため、市と指定管理者が連携し、来園者の増加と満足度を向上するよう情報発信を行う。施設についても約7年が経過し、また、施設の傷みや外観の印象が悪くなっているため、施設の整備を実施する必要がある。

4. 事業費の推移

事業費 投入量	財源内訳	単位	30年度 決算	31年度 当初予算	2年度 決算	3年度 当初予算	3年度 計画
	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
	県支出金	千円	0	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	9,825	9,817	9,853	11,003	11,003
事業費	千円	9,825	9,817	9,853	11,003	11,003	

5. 平成31年度の実績及び成果

(1) 平成31年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>	(2) 平成31年度の実績 <左記の実績(取組)による成果を記載>
指定管理料 9,839,370円 敷地内陥没修繕 15,000円 温泉配管及び湧水処理修繕 269,940円 法面伐採業務委託 418,000円	・指定管理者による適正な管理運営がなされた。 ・温泉配管の修繕を行い、施設の機能を維持することができた。 ・6月末の大雨により被災した施設裏法面の樹木伐採を行い、安全に利用できるようになった。

事務事業 番号	02301	事務 事業名	塩浸温泉龍馬公園管理運営事業	担当部	商工観光部
				担当課	商工観光施設課

6. 振り返り <SEE (check)>		
A 目的 妥当 性	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついていますか？	・この事業をなぜ市が行わなければならないですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？
	結びついている	市が実施すべき事業又は実施しなければならない事業である
	間接的に結びついている	市が実施することは妥当である
	結びついていない	見直す必要がある
B 有 効 性	成果が向上する余地（可能性）はありませんか？	廃止・休止の影響はありませんか？
	向上する余地はかなりある	影響がある
	向上する余地はある程度ある	影響はある程度ある
	向上する余地はほとんどない	影響はほとんどない
C 効 率 性	・事務事業の手段（やり方）を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？	・事務事業の手段（やり方）を工夫することで、人件費（延べ業務時間）を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？
	削減できない	削減できない
	削減する余地はある程度ある	削減する余地はある程度ある
	削減できる	削減できる
D 公 平 性	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？	
	公平・公正である	
	見直す必要がある	

総合評価判定基準	総合評価	理由
A: 継続して取り組むことが適当（やり方改善含む。） B: 事業規模・内容・実施主体の見直しの検討 C: 事業の統合、休・廃止の検討	A	塩浸温泉龍馬公園は、温泉施設、足湯、資料館等の魅力を発信するための本市の施設であり、指定管理者による管理運営を行っている。廃止すると坂本龍馬に興味を持つ人や塩浸温泉の泉質を好んで訪れる観光客が本市を訪れなくなる可能性があり、観光誘客に影響がある。利用料金収入が向上すれば、指定管理料は削減できる。誰でも利用可能な施設であり、温泉、資料館は利用者から利用料金を徴収し、公平性が確保されているため、継続して取り組むことが適当である。

7. 1次評価結果 <PLAN (Action - Plan)> (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性 << 継続・やり方改善 >>			
(1) 今後の事務事業の改革改善の方向性	の事業 方向性 (成果)	拡 充			
	維 持			レ	
	縮 小				
	休廃止（統合含む）				
		皆 減	縮 小	維 持	拡 大
		コスト投入（予算）の方向性			
(2) 令和2年度の改革改善の内容 (取り組むべき課題)	年々、利用者数が減少しているため、令和2年度も引き続き利用者が満足できる施設となるよう新しい指定管理者と連携しながら適切な管理運営を行い、観光客の誘客を促進し、来園者数の増加を図る。がけ地に立地しており、大雨等により被災する恐れもあることから、指定管理者と連携を密にし、防災・避難体制の強化を図る。湯量不足及び湯温が低下している源泉の浚渫工事を行い温泉機能の回復を図る。				
(3) 令和3年度の方向性 (具体的な取組)	指定管理者と密に連携し、令和3年度も引き続き利用者が満足できる施設となるよう適切な管理運営を行う。				

8. 2次評価結果 (担当部長評価)		評価者	職・氏名
(1) 今後の事務事業の改革改善の方向性	の事業 方向性 (成果)	拡 充	
	維 持		
	縮 小		
	休廃止（統合含む）		
		皆 減	縮 小 維 持 拡 大
		コスト投入（予算）の方向性	
(2) 総評			

1. 基本情報						
事務事業番号	02302	事務事業名	西郷公園管理運営事業	担当部	商工観光部	
政策名	001	にぎわい(産業の活力があふれ、交流と賑わいが生まれるまちづくり)		担当課	商工観光施設課	
施策名	004	地域特性を生かした観光の推進		担当課長	秋窪 達郎	
基本事業名	003	利便性の高い観光地づくりの推進		グループ	施設管理グループ	
予算科目目	会計 一般会計 款 07 商工費 項 01 商工費 目 05 施設管理費	事業期間	単年度のみ 単年度繰返(開始年度 平成 2年度 ~) 期間限定複数年度(~)			
評価区分	標準評価	評価対象	1次評価	根拠法令・条例等	霧島市西郷公園の設置及び管理に関する条例	
				関連計画	特になし	

2. 事務事業の概要・目的・指標<Do>

(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)
 西郷公園は、西郷隆盛の「敬天愛人」の思想を活かし、教育文化の振興と地域経済の活性化の拠点として平成元年度に整備され、園内には人物像として日本一の大きさ(10.5m)である西郷隆盛像や、西南戦争を描いた53枚の錦絵をはじめ西郷隆盛や明治維新に関する資料などが展示されている。また、当公園は南九州の空の玄関口である鹿児島空港のほぼ正面に位置し、高速道路のインターチェンジ近くに立地していることもあり、観光目的で来園する方も多数いることから、本市を周知する上で有用な施設となっている。
 西郷隆盛の命日月には、他団体により慰霊祭、誕生日には西郷南洲生誕祭などのイベントを実施している。
 平成29年度までは、行政財産の使用を許可した店舗使用者が特産品販売を行っていたが、平成30年度より指定管理者制度を導入している。
 指定管理者 (有)河内園本舗
 指定管理期間 平成30年4月1日～令和5年3月31日
 開園時間 午前8時30分～午後5時30分(年中無休)

活動指標 (事務事業の活動量)	単位	平成30年度 (実績)	平成31年度 (見込)	令和 2年度 (実績)	令和 3年度 (見込)
ア 指定管理者による自主事業実施数	件	7	8	3	5
イ					
ウ					

(2) 事務事業の目的

対象 (誰、何を対象にしているのか)	対象指標 (左記 対象の大きさを表す指標)	単位	平成30年度 (実績)	平成31年度 (見込)	令和 2年度 (実績)	令和 3年度 (見込)
ア 観光客	霧島市を訪れる観光客(宿泊+日帰り)	人	7,606,885	7,797,236	7,489,312	7,875,208
イ						
ウ						

意図 (対象をどうしたいのか)	成果指標 (左記 意図の達成度を表す指標)	単位	平成30年度 (実績)	平成31年度 (目標)	令和 2年度 (実績)	令和 3年度 (目標)
ア 施設を利用してもらう	施設利用者数	人	66,002	67,000	34,924	41,000
イ						
ウ						

(3) 総合計画との関係

基本事業の目的、取組方針(総合計画より)
 国際線を有する空港所在都市としての強みを生かし、主要な交通結節点である空港や駅からの二次アクセスの強化を図ります。誰もが安心、快適に観光できるよう、施設などのユニバーサルデザイン化や多言語表記による案内板の設置、Wi-Fi及び超高速ブロードバンド環境の整備を促進します。
 さらに、増加傾向にある外国人観光客の受入体制を強化するとともに、本市特有の自然、景観、歴史、文化を生かした観光地づくりを推進します。

3. 前年度の評価表に記載した課題

平成31年度の改善改革の内容(取り組むべき課題)
 施設の老朽化が進む中、引き続き、指定管理者と連携をとりながら適切な修繕・維持管理等を行い、入園者の受入体制の更なる充実を図り集客に努める。

4. 事業費の推移

事業費	単位	30年度	31年度		2年度	3年度
		決算	当初予算	決算	当初予算	計画
国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
県支出金	千円	0	0	0	0	0
地方債	千円	0	0	0	0	0
その他	千円	27,000	0	9,529	0	0
一般財源	千円	10,904	4,133	4,128	4,171	4,171
事業費	千円	37,904	4,133	13,657	4,171	4,171

5. 平成31年度の実績及び成果

(1) 平成31年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>	(2) 平成31年度の実績 <左記の実績(取組)による成果を記載>
指定管理料 4,011,200円 回廊屋根瓦修繕 116,640円 空調設備改修工事 9,525,988円(平成30年度からの繰越分)	・指定管理者による適正な管理運営がなされた。 ・空調設備の改修(繰越事業)を行ったほか、6月末からの大雨により発生した雨漏り対策として、回廊の屋根瓦修繕を行い、利用者の利便性の向上を図り、観光客の受け入れ態勢を整えた。

事務事業 番号	02302	事務 事業名	西郷公園管理運営事業	担当部	商工観光部
				担当課	商工観光施設課

6. 振返り <SEE (check) >		
A 目的 妥当 性	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついていますか？	・この事業をなぜ市が行わなければならないですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？
	結びついている	市が実施すべき事業又は実施しなければならない事業である
	間接的に結びついている	市が実施することは妥当である
	結びついていない	見直す必要がある
B 有効 性	成果が向上する余地（可能性）はありませんか？	廃止・休止の影響はありませんか？
	向上する余地はかなりある	影響がある
	向上する余地はある程度ある	影響はある程度ある
	向上する余地はほとんどない	影響はほとんどない
C 効率 性	・事務事業の手段（やり方）を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？	・事務事業の手段（やり方）を工夫することで、人件費（延べ業務時間）を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？
	削減できない	削減できない
	削減する余地はある程度ある	削減する余地はある程度ある
	削減できる	削減できる
D 公平 性	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？	
	公平・公正である	
	見直す必要がある	

総合評価判定基準	総合評価	理由
A: 継続して取り組むことが適当（やり方改善含む。） B: 事業規模・内容・実施主体の見直しの検討 C: 事業の統合、休・廃止の検討	A	西郷公園は空港前、インターチェンジ近くという好立地にある本市の施設であり、指定管理者による管理運営を行っている。人物像として日本一の大きさの西郷隆盛像もあり、廃止すると本市の観光誘客に影響がある。事業費は管理運営に要する最低限の費用であり削減できない。当公園は無料で開放しており、観光や休憩等を目的に広く一般の方が利用する施設であり、公平性が確保されているため、継続して取り組むことが適当である。

7. 1次評価結果 <PLAN (Action - Plan) > (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性 << 継続・やり方改善 >>			
(1) 今後の事務事業の改革改善の方向性	の事業 方向性 (成果)	拡充			
	維持			レ	
	縮小				
	休廃止（統合含む）				
		皆減	縮小	維持	拡大
コスト投入（予算）の方向性					
(2) 令和2年度の改革改善の内容 (取り組むべき課題)	施設の老朽化や大雨、強風等により被災することも多く、年々修繕が増えているが、引き続き利用者が満足できる施設となるよう指定管理者と連携しながら適切な管理運営を行うとともに自主事業の充実を図りながら利用者数の確保を目指す。				
(3) 令和3年度の方向性 (具体的な取組)	指定管理者と密に連携し、令和3年度も引き続き利用者が満足して利用できる施設となるよう適切な管理運営を行うとともに更なる入園者の誘客に努める。				

8. 2次評価結果 (担当部長評価)		評価者	職・氏名
(1) 今後の事務事業の改革改善の方向性	の事業 方向性 (成果)	拡充	
	維持		
	縮小		
	休廃止（統合含む）		
		皆減	縮小 維持 拡大
コスト投入（予算）の方向性			
(2) 総評			

1. 基本情報						
事務事業番号	02303	事務事業名	浜之市ふれあいセンター管理運営事業		担当部	商工観光部
政策名	003	やさしさ（誰もが支えあいながら生き生きと暮らせるまちづくり）			担当課長	商工観光施設課 秋窪 達郎
施策名	003	住み慣れた地域で暮らし続けるための地域包括ケアの推進			グループ	施設管理グループ
基本事業名	001	介護予防の推進と高齢者の生きがいづくりの充実			内線番号	2614
予算科目目	会計	一般会計		事業期間	単年度のみ	
	款	07	商工費		単年度繰返（開始年度 平成14年度 ~）	
	項	01	商工費		期間限定複数年度（ ~ ）	
目	目	05	施設管理費	根拠法令・条例等	霧島市浜之市ふれあいセンターの設置及び管理に関する条例	
評価区分	標準評価	評価対象	1次評価		関連計画	特になし

2. 事務事業の概要・目的・指標<Do>

(1) 事務事業の概要（具体的なやり方、手順、詳細を記述）
 浜之市ふれあいセンター内には、温泉施設「富の湯」、地域特産品の展示・販売コーナー、調理実習室、研修室があり、屋外には足湯がある。
 平成14年度にオープン。
 営業時間 午前9時～午後10時
 休業日 月曜日（月曜日が祝日の場合はその後の最初の平日）、12月31日、1月1日
 延床面積 624㎡
 指定管理者 大成ビルサービス株式会社
 指定管理期間 平成28年4月1日～令和3年3月31日
 利用料金 入浴料（大人370円、子ども150円）

活動指標（事務事業の活動量）	単位	平成30年度（実績）	平成31年度（見込）	令和2年度（実績）	令和2年度（見込）	令和3年度（見込）
ア 開館日数	日	307	312	312	312	311
イ						
ウ						

(2) 事務事業の目的

対象（誰、何を対象にしているのか）	対象指標（左記対象の大きさを表す指標）	単位	平成30年度（実績）	平成31年度（見込）	令和2年度（実績）	令和2年度（見込）	令和3年度（見込）
ア 市民	市人口	人	124,785	126,230	124,367	124,181	123,908
イ							
ウ							

意図（対象をどうしたいのか）	成果指標（左記意図の達成度を表す指標）	単位	平成30年度（実績）	平成31年度（目標）	令和2年度（実績）	令和2年度（目標）	令和3年度（目標）
ア 当施設を利用してもらおう。	富の湯利用者数	人	38,598	40,000	38,788	40,000	40,000
イ 当施設を利用してもらおう。	研修室等使用者数	人	368	500	238	300	300
ウ							

(3) 総合計画との関係

基本事業の目的、取組方針（総合計画より）
 住民主体の通いの場の充実を図るとともに、理学療法士や作業療法士などの専門職を生かした自立支援に資する取組等により介護予防事業を推進します。
 また、高齢者がこれまでに培った知識と経験を生かし、生き生きと日々の生活を送り、さらに、生活支援の担い手として活躍できるよう、地域活動やボランティアの促進などに取り組みます。

3. 前年度の評価表に記載した課題

平成31年度の改善改革の内容（取り組むべき課題）
 指定管理者による管理を行っており、より効果的な施設の利用を図るため、施設整備については計画的な修繕など早急に対応できるよう指定管理者との連携を密にするなど利用者サービスに努める。

4. 事業費の推移

事業費	単位	30年度	31年度		2年度	3年度
		決算	当初予算	決算	当初予算	計画
国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
県支出金	千円	0	0	0	0	0
地方債	千円	0	0	0	0	0
その他	千円	0	0	0	0	0
一般財源	千円	2,695	2,713	2,867	2,741	2,741
事業費	千円	2,695	2,713	2,867	2,741	2,741

5. 平成31年度の実績及び成果

(1) 平成31年度の実績（取組） <取組内容を数値等により具体的に記載>	(2) 平成31年度の実績（取組）による成果を記載
指定管理料 2,783,860円 温泉用薬注タンク設置修繕 71,500円 備品購入（レジスター） 46,440円	・指定管理者による適正な管理運営により、市民福祉及び健康増進に役立った。 ・温泉用薬注タンクの修繕を行い、施設の機能を維持することができた。 ・レジスターを購入し、消費税の増税にスムーズに対応することができた。

事務事業 番号	02303	事務 事業名	浜之市ふれあいセンター管理運営事業	担当部	商工観光部
				担当課	商工観光施設課

6. 振り返り <SEE (check)>		
A 目的 妥当性	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついていますか？	・この事業をなぜ市が行わなければならないですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？
	結びついている	市が実施すべき事業又は実施しなければならない事業である
	間接的に結びついている	市が実施することは妥当である
	結びついていない	見直す必要がある
B 有効性	成果が向上する余地（可能性）はありますか？	廃止・休止の影響はありませんか？
	向上する余地はかなりある	影響がある
	向上する余地はある程度ある	影響はある程度ある
	向上する余地はほとんどない	影響はほとんどない
C 効率性	・事務事業の手段（やり方）を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？	・事務事業の手段（やり方）を工夫することで、人件費（延べ業務時間）を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？
	削減できない	削減できない
	削減する余地はある程度ある	削減する余地はある程度ある
	削減できる	削減できる
D 公平性	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？	
	公平・公正である	
	見直す必要がある	

総合評価判定基準	総合評価	理由
A: 継続して取り組むことが適当（やり方改善含む。） B: 事業規模・内容・実施主体の見直しの検討 C: 事業の統合、休・廃止の検討	A	浜之市ふれあいセンターは、市民福祉、健康増進及び地元産業の育成等を図るための本市の施設であり、指定管理者による管理運営を行っている。廃止・休止した場合、周辺地域の利用者が多いため影響は大きい。指定管理者による適切な維持管理がなされているが、さらに効率的な施設の運営を行うことで事業費を削減する余地はある。条例に定められた範囲内での利用料金であり、対象者も制限しておらず、公平性が確保されているため、継続して取り組むことが適当である。

7. 1次評価結果 <PLAN (Action - Plan)> (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性 << 継続・やり方改善 >>			
(1) 今後の事務事業の改革改善の方向性	の事業(成果)の方向性	拡充			
		維持		レ	
		縮小			
	休廃止(統合含む)				
		皆減	縮小	維持	拡大
		コスト投入(予算)の方向性			
(2) 令和2年度の改革改善の内容(取り組むべき課題)	施設の老朽化により、年々修繕が増えているが、令和2年度も引き続き利用者が満足できる施設となるよう指定管理者と連携しながら適切な管理運営を行う。 令和3年度以降も引き続き指定管理者による管理運営を行うための公募事務を進める。				
(3) 令和3年度の方向性(具体的な取組)	指定管理者と密に連携し、令和3年度も引き続き利用者が満足できる施設となるよう適切な管理運営を行う。				

8. 2次評価結果(担当部長評価)		評価者	職・氏名
(1) 今後の事務事業の改革改善の方向性	の事業(成果)の方向性	拡充	
		維持	
		縮小	
	休廃止(統合含む)		
		皆減	縮小 維持 拡大
		コスト投入(予算)の方向性	
(2) 総評			

1. 基本情報						
事務事業番号	02545	事務事業名	日当山西郷どん村管理運営事業	担当部	商工観光部	
政策名	001	にぎわい(産業の活力があふれ、交流と賑わいが生まれるまちづくり)		担当課	商工観光施設課	
施策名	004	地域特性を生かした観光の推進		担当課長	秋窪 達郎	
基本事業名	003	利便性の高い観光地づくりの推進		グループ	施設管理グループ	
予算科目目	会計 一般会計 款 07 商工費 項 01 商工費 目 05 施設管理費	事業期間	単年度のみ 単年度繰返(開始年度 平成31年度 ~) 期間限定複数年度(~)			
評価区分	標準評価	評価対象	1次評価	関連計画	霧島市日当山西郷どん村の設置及び管理に関する条例	
					霧島市観光総合戦略	

2. 事務事業の概要・目的・指標<Do>

(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)
 日当山西郷どん村は平成30年にNHK大河ドラマ「西郷どん」の放送や明治維新150周年を迎え、観光客の誘客促進による地域経済活性化を図るため、日当山温泉郷に平成29年度から平成30年度にかけて、西郷隆盛公が逗留した家を基に建築した西郷どんの宿と地元農産品等を販売する特産品販売所及びレストランを併設した物産館のほか、敷地内の源泉を利用した足湯を整備している。
 平成29年12月10日 西郷どんの宿オープン、平成31年1月22日 完成記念式典、1月23日 グランドオープン(西郷隆盛公の誕生日)
 令和元年12月6日 特産品販売所再オープン、12月13日 レストラン再オープン
 施設概要 西郷どんの宿、かまど棟、物産館、観光案内所、便所、駐車場 開園時間 午前9時~午後6時(年中無休)
 西郷どんの宿等管理及び清掃業務委託先 霧島市シルバー人材センター
 平成30年度~平成31年度 公益社団法人 霧島市シルバー人材センター
 物産館(レストラン・特産品販売所)運営事業者 一般社団法人 霧島商社、令和元年11月~ (株)無垢・(株)そらのまち保育園

活動指標 (事務事業の活動量)	単位	平成30年度 (実績)	平成31年度 (見込)	令和2年度 (見込)	令和3年度 (見込)
ア 開館日数	日	0	366	361	365
イ					
ウ					

(2) 事務事業の目的

対象 (誰、何を対象にしているのか)	対象指標 (左記 対象の大きさを表す指標)	単位	平成30年度 (実績)	平成31年度 (見込)	令和2年度 (見込)	令和3年度 (見込)
ア 観光客	霧島市を訪れる観光客(宿泊+日帰り)	人	0	7,797,236	7,489,312	7,875,208
イ						
ウ						
意図 (対象をどうしたいのか)	成果指標 (左記 意図の達成度を表す指標)	単位	平成30年度 (実績)	平成31年度 (目標)	令和2年度 (目標)	令和3年度 (目標)
ア 多くの方に施設に来てもらう	施設利用者数	人	0	30,000	33,403	35,000
イ						
ウ						

(3) 総合計画との関係

基本事業の目的、取組方針(総合計画より)
 国際線を有する空港所在都市としての強みを生かし、主要な交通結節点である空港や駅からの二次アクセスの強化を図ります。誰もが安心、快適に観光できるよう、施設などのユニバーサルデザイン化や多言語表記による案内板の設置、Wi-Fi及び超高速ブロードバンド環境の整備を促進します。
 さらに、増加傾向にある外国人観光客の受入体制を強化するとともに、本市特有の自然、景観、歴史、文化を生かした観光地づくりを推進します。

3. 前年度の評価表に記載した課題

平成31年度の改善改革の内容(取り組むべき課題)

4. 事業費の推移

事業費 投入量	国庫支出金	千円	0	0	0	0
	県支出金	千円	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0
	その他	千円	0	11,113	10,080	2,611
	一般財源	千円	0	15	1,976	8,429
事業費	千円	0	11,128	12,056	11,040	11,040

5. 平成31年度の実績及び成果

(1) 平成31年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載> 西郷どんの宿等管理及び清掃業務委託 4,186,010円 西郷どんの宿機械警備業務委託 261,600円 西郷どん村駐車場警備業務委託 1,283,520円 西郷どん村庭園管理業務委託 1,156,700円 西郷どん村浄化槽維持管理業務委託 545,872円	(2) 平成31年度の実績(取組)による成果を記載 ・西郷どんの宿等の管理については、(公社)シルバー人材センターに委託し、適正な管理がなされた。 ・機械警備、駐車場警備、庭園管理業務等についても各委託先により、適正に行われた。 ・物産館(レストラン及び特産品販売所)については、令和元年8月に運営事業者が撤退したため、改めて募集を行い、同年11月に新たな運営事業者を選定し、12月に再オープンすることができた。
---	--

事務事業 番号	02545	事務 事業名	日当山西郷どん村管理運営事業	担当部	商工観光部
				担当課	商工観光施設課

6. 振返り <SEE (check) >

A 目的 妥当 性	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついていますか？	・この事業をなぜ市が行わなければならないですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？
	結びついている	市が実施すべき事業又は実施しなければならない事業である
	間接的に結びついている	市が実施することは妥当である
	結びついていない	見直す必要がある
B 有 効 性	成果が向上する余地（可能性）はありませんか？	廃止・休止の影響はありませんか？
	向上する余地はかなりある	影響がある
	向上する余地はある程度ある	影響はある程度ある
	向上する余地はほとんどない	影響はほとんどない
C 効 率 性	・事務事業の手段（やり方）を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？	・事務事業の手段（やり方）を工夫することで、人件費（延べ業務時間）を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？
	削減できない	削減できない
	削減する余地はある程度ある	削減する余地はある程度ある
	削減できる	削減できる
D 公 平 性	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？	
	公平・公正である	
	見直す必要がある	

総合評価判定基準	総合評価	理由
A:継続して取り組むことが適当（やり方改善含む。） B:事業規模・内容・実施主体の見直しの検討 C:事業の統合、休・廃止の検討	A	西郷どん村は観光客の誘客促進及び地域の活性化等を図るために本市が整備した施設である。物産館の運営については、事業者の裁量によるところが大きい、密に連携を図り、西郷どんの宿のPRと併せて情報発信を行うことで向上する余地はある。事業を廃止すると西郷どんの宿を含む園内の維持管理ができなくなる。事業費は管理に要する最低限の費用であり削減できない。誰でも利用できる施設であり、公平性が確保されているため、継続して取り組むことが適当である。

7. 1次評価結果 <PLAN (Action - Plan) > (組織決定)

		【参考】前年度の改革改善の方向性 << 継続・やり方改善 >>			
(1) 今後の事務事業の改革改善の方向性	の 事 業 向 成 果 性 (成 果)	拡 充			
		維 持			レ
		縮 小			
		休廃止（統合含む）			
			皆 減	縮 小	維 持
			コスト投入（予算）の方向性		
(2) 令和2年度の改革改善の内容 (取り組むべき課題)	令和2年度は西郷どんの宿の管理を（公社）霧島市観光協会に委託し、物産館内の観光案内所と一体的に業務を行うことで観光ガイド機能の強化を図るとともに物産館の運営事業者とも密に連携し、利用者が満足できる施設となるよう適切な維持管理を行う。 また、観光PR課等と連携しながら西郷どん村の情報発信を行い、観光誘客及び周辺地域の活性化を図る。				
(3) 令和3年度の方向性 (具体的な取組)	令和3年度も引き続き、西郷どんの宿の管理委託先や物産館の運営事業者と密に連携し、利用者が満足できる施設となるよう適切な維持管理を行うとともに観光PR課等と連携しながら西郷どん村の情報発信を行い、観光誘客及び周辺地域の活性化を図る。				

8. 2次評価結果 (担当部長評価)

						評価者	職・氏名
(1) 今後の事務事業の改革改善の方向性	の 事 業 向 成 果 性 (成 果)	拡 充					
		維 持					
		縮 小					
		休廃止（統合含む）					
			皆 減	縮 小	維 持		拡 大
			コスト投入（予算）の方向性				
(2) 総評							

